PORSCHE

Panamera S E-Hybrid

追補版取扱説明書

「Porsche」、「Porscheクレスト」、「Panamera」、「PCCB」、「PCM」、「Tiptronic」、「PTM」、「PSM」および「Tequipment」はポルシェ社の登録商標です。
Printed in Japan.

本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可がない限り禁止致します。
© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG.

ポルシェジャパン株式会社

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

東京都目黒区下目黒 1 – 8 – 1
ポルシェジャパン株式会社
アフターセールス部マーケット
サポートグループ

車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

オプション装備品や国別仕様は、法律等の基準によって、この取扱説明書の内容と異なる場合があります。そのような項目にはアスタリスク（*印）を付けていますのでご留意ください。この取扱説明書に記載した装備品の一部はオプション部品です。車両ご購入の際にこれらの装備品を追加したい場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明致します。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と一部異なる場合があります。

取扱説明書

この追補版取扱説明書は、取扱説明書に代わるものではありません。

詳しい情報は、Panamera取扱説明書に記載されています。特に警告と安全に関する指示をよく読んでください。

取扱説明書内の安全に関する指示

この追補版取扱説明書内には様々な安全に関する指示が使用されています。

⚠ 危険 重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 警告 重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

⚠ 注意 ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

車両を損傷する恐れがあります。

「知識」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

インフォメーション

追加情報、ヒントおよび指示につきましては「インフォメーション」で表示されています。「インフォメーション」の内容をよく読み、指示にしたがってください。

目次

安全に関する知識 2
概要 2
ハイブリッド構成部品の概要 3
概要説明 – ハイブリッド自動車による燃費効率の良い運転 4
概要説明 – 運転上のアドバイス 5
概要説明 – 様々な状況での燃費効率の良い運転 6
ハイブリッド・システムの作動条件 7
走行中のハイブリッド機能と作動モード 7
ハイブリッド車の始動 10
ポルシェ・カー・コネクト＊ 10
インストルメント・パネルの表示 11
マルチファンクション・ディスプレイの設定 15
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ディスプレイ＊ 19
連続した電動モーター走行 – E パワー・モード 22
走行中の充電 – E チャージ・モード 23
スポーツ・モード 24
充電装置の概要 25
高電圧バッテリーの充電 25
車両のお手入れ 32
軽修理 34
警告と情報メッセージの概要 37
テクニカル・データ 39
索引 47
知っておくと役立つ情報

＊ 日本仕様に設定はありません。

安全に関する知識

⚠ 危険 高電圧による感電

高電圧車両のエレクトリカル・システムおよび高電圧バッテリーの高電圧は大変危険です。損傷した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクスまたはA/Cコンプレッサーに触れると、感電により致命傷を負う危険があります。

ハイブリッド・システムのすべての構成部品には警告ラベルが貼付されています。高電圧ケーブルはオレンジに着色されています。

- ▷ 高電圧車両のエレクトリカル・システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクス、またはA/Cコンプレッサーへの作業は行わないでください。
- ▷ 高電圧車両エレクトリカル・システムの高電圧ケーブル（オレンジ色）を損傷させたり、取り外しや切り離しは絶対に行わないでください。
- ▷ 事故の後などで損傷したハイブリッド・システムの部品には触らないでください。
- ▷ 高電圧バッテリーは絶対に取り外さないでください。

⚠ 警告 他の通行者に車両が気付かれにくい恐れがあります

エレクトリカル・システムを使用して走行している場合、車両の走行音はエンジン作動時よりもかなり小さくなります。交通静穏化の施された場所では、後退時や駐車時など、一定の状況で通行者に車両が接近していることに気付かれにくい場合があります。

- ▷ 十分に注意して走行してください。

警告ラベル

エンジン・ルームのフロント・クロスメンバーおよび高電圧バッテリーに黄色の警告ラベルが貼付されており、ハイブリッド・システム構成部品に触れないよう警告しています。

ハイブリッド・システムの構成部品には、構成部品や高電圧部に触れないよう警告する2枚一組の警告ラベル（**下記イラスト参照**）が貼付されています。

- ▷ どのような場合も、警告ラベルや警告表示をはがしたり、また表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。
- ▷ ハイブリッド・システム構成部品の警告ラベルが貼付されたカバーは、どのような場合であっても取り外さないでください。

イラストの示す意味

	正しく使用しなかった場合、感電する恐れがあります。
	危険な電圧に関する警告
	危険！
	ハイブリッド・システムの構成部品に記載された説明や、追補版取扱説明書の指示を参照してください。

概要

パラレル・プラグイン・ハイブリッド・ドライブ

Panamera S E-Hybridは、電動モーターのみ、または従来の内燃エンジンにより駆動することができるパラレル・プラグイン・ハイブリッド車です。

パラレル・プラグイン・ハイブリッド・ドライブ搭載車は、次の3つの作動モードで走行することができます。

- – 内燃エンジンを切り離し、モーター・ジェネレーターのみによる走行
- – 内燃エンジンとモーター・ジェネレーターによる走行（最大出力：Eブースト機能）
- – 内燃エンジンのみによる走行

モーター・ジェネレーターは、走行モードで車両の駆動に使用されないときにオルタネーターとして作動し、高電圧バッテリーの充電や補助システムへ供給する電気エネルギーを発生します。モーター・ジェネレーターはスターターとオルタネーターの機能を備えています。

ハイブリッド構成部品の概要

A 内燃エンジン

3.0リッター直噴V6過給エンジン

B オンボード充電器

充電装置からの交流電流(AC)を高電圧バッテリーの充電に必要な直流電流(DC)に変換します。

C 高電圧バッテリー

完全一体型メンテナンス・フリー・リチウム・イオン・バッテリー

▷ 32ページを参照してください。

D パワー・エレクトロニクス

高電圧バッテリーの直流電圧をモーター・ジェネレーター作動用の交流電圧に変換し、オルタネーター・モードの回生中に生成された交流電圧を高電圧バッテリー充電用の直流電圧に変換します。パワー・エレクトロニクスには車両の12Vエレクトリカル・システムに電源を供給するトランスとしての機能もあります。

E モーター・ジェネレーターとセパレート・クラッチで構成されるハイブリッド・モジュール

電動モーター駆動とエネルギー回収のためオルタネーターおよびスターターの機能を併せ持つ3相同期ユニット

エンジンの接続と接続解除のため、内燃エンジンとモーター・ジェネレーター間に配置されたセパレート・クラッチ

F 高電圧ケーブル（オレンジ色）

ハイブリッド構成部品に電源を供給するヒューズ付きケーブル

概要説明 – ハイブリッド自動車による燃費効率の良い運転

この概要説明はこの「追補版取扱説明書」に記載された詳細説明に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

その操作方法は？	その結果は？
▷ リヤ・ウィンドウ・ヒーター、フロント・デフロスター、シート・ヒーターなどは節度をもって使用してください。 ▷ エアコン・システムの使用を控えめにしてください（例 A/CモードをOFFにしてください）。	内燃エンジンで駆動しているときは、補助電気装備類の負荷を削減すると燃料節約につながります。 電気による駆動中は高電圧バッテリーのエネルギーが節約され、電動モーターでの走行距離が増加します。
▷ 車両を夜間駐車するときなどは、車両充電ポートから高電圧バッテリーを充電してください。	高電圧バッテリーのエネルギーを電動モーター走行に使用することができます。
▷ 注意深く運転し、早めに加速を終えてください。	車両の運動エネルギーが走行のために最適に利用されます。 過度な加減速によってエネルギーが無駄に使用されるのを防ぎます。
▷ 意図的にアクセル・ペダルから足を放し、惰性走行状態を長くしてください。	余分な速度を活用し、車両をエネルギー消費なしで惰性走行させます。 内燃エンジンが自動的にOFFになります。
▷ 約165km/h以下の速度域では惰性走行が利用可能です。	内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の効率的な惰性走行は、約165km/hまでの速度で利用可能です。
▷ ペダルの動きを最小限にし、ゆっくり均一な制動を行ってください。	オルタネーターとしても働くモーター・ジェネレーターにより、車両はほぼ完全に制動されます。同時に、電気エネルギーが発生し、高電圧バッテリーの充電に使用されます。
▷ 高速道路または幹線道路の走行時には、Eチャージ・モードを使用してください。	高速道路や幹線道路の走行時など、高い出力が必要な場合、通常内燃エンジンが使用されます。その結果、モーター・ジェネレーターは高電圧バッテリーを充電するオルタネーターとして機能します。高電圧バッテリーに蓄えられたエネルギーは、市街地走行などにおいてエミッション・フリーの電気走行に利用できます。
▷ スポーツ・モードは控えめに使用してください。	スポーツ・ボタンを使用したスポーティーな走行は、燃費を悪化させます。内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の効率的な惰性走行は、スポーツ・モードでは約70km/h以下の速度でのみ可能となります。
▷ フル・スロットルでの加速は避けてください。	内燃エンジンは緩やかな加速状態のときが最も効率が高く、燃費も向上します。また、純粋に電動モーターのみで走行する確率も高くなります。

概要説明 – 運転上のアドバイス

この概要説明はこの「追補版取扱説明書」に記載された詳細説明に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
電動モーターによる走行	▷ Tiptronic Sセレクター・レバーを**D**位置にしてください。 ▷ フット・ブレーキを放してください。 ▷ アクセル・ペダルを軽く踏んでください。	ハイブリッド・システムの作動条件が満たされている場合、車両は電動モーターで発進します。内燃エンジンは速度が上がってから、またはより大きな加速力が必要な場合にONになります。 Eパワー・モードの作動中、プレッシャー・ポイント（アクセル・ペダルの動きに抵抗を感じる箇所）があり、電気駆動力の調節の補助として役立ちます。
フル・スロットル/ブースト	▷ アクセル・ペダルを踏み込んでください。 スポーツ・モードON： ▷ アクセル・ペダルを踏み込んでください。アクセル・ペダルを約80%踏み込むと、ブースティング・モードを作動させることができます。	加速中にモーター・ジェネレーターが内燃エンジンを補助します。加速時にモーター・ジェネレーターと内燃エンジンの出力を複合した最大限の駆動力が利用されます。
一定速度で走行し、惰性走行する（駆動力なし）	▷ 注意深く運転してください。 ▷ 控えめに加速してください。 ▷ 加速はできるだけ早めに終わらせてください。 ▷ アクセル・ペダルから足を完全に放し、惰性走行をさせてください。	車両の運動エネルギーが走行のために最適に利用されます。過度な加減速によってエネルギーが無駄に使用されるのを防ぎます。 アクセル・ペダルから足を放した瞬間に内燃エンジンが自動的にOFFになり、切り離されます。車両は駆動力なしで惰性走行します。
制動エネルギーを回収/回生する	▷ ペダルの動きを最小限にした早めで均一な制動を行ってください。	車両は、オルタネーター・モードのモーター・ジェネレーターによって制動されます。このプロセスの間、運動エネルギーのほとんどが回収され、高電圧バッテリーに電気エネルギーとして蓄えられます。

概要説明 – 様々な状況での燃費効率の良い運転

この概要説明はこの「追補版取扱説明書」に記載された詳細説明に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
市街地を走行する	▷ 注意深く運転し、加速は控えめに、ブレーキは早めに、またペダルの動きを最小限にしてスムーズに走行してください。	車両の運動エネルギーが走行のために最適に利用されます。過度な加減速によってエネルギーが無駄に使用されるのを防ぎます。
	▷ Eパワー・モードの使用を推奨します。	エミッションフリーの電動モーター走行の利点は、一般的に低速での頻繁な加速と減速を伴うストップ・アンド・ゴー走行を含む市街地走行時に特に効率的に使用することができます。
	▷ Eチャージ・ボタンは控えめに使用してください。	停車時や効率的にゆっくり走行している場合、高速道路走行時と比較して、内燃エンジンはOFFの状態が続くため、より充電に時間がかかります。
	▷ スポーツ・モードは控えめに使用してください。	スポーツ・ボタンによるスポーティーな走行は、燃費を悪化させます。
高速道路や田舎道などを走行する	▷ 意図的にアクセル・ペダルから足を放し、惰性走行状態を長くしてください。	アクセル・ペダルから足を放した瞬間に内燃エンジンが自動的にOFFになり、切り離されます。車両は駆動力なしで惰性走行します。
	▷ 速度をアクセル操作によって下げるようにし、ブレーキは控えめに使用してください。	惰性走行が可能です。余分な速度が制動時よりも効率的に利用されます。
	▷ 速度が約165km/hを超えないようにしてください。	約165km/hまでの速度で効率的な惰性走行が可能です。
冬季の運転	▷ 停車したままエンジンを暖機しないでください。	停車時には燃料が供給されません。
	▷ リヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーター、シートおよびステアリング・ホイール・ヒーターなどは控えめに使用してください。	高電圧バッテリーのエネルギーが節約され、車両を駆動するために使用できます。
	▷ 夜間は車両をガレージ内に駐車してください。	高電圧バッテリーの急激な冷却は避けてください。高電圧バッテリーは、運転を開始した方がより速く理想的な温度範囲に到達します。

ハイブリッド・システムの作動条件

モーター・ジェネレーターは、次の条件が満たされた場合に、補助的な動力または車両の駆動力として利用できます：

- 高電圧バッテリーが十分に充電されている場合
- エンジン油温が約0°C以上である場合
- 高電圧バッテリーの温度が異常に低下または上昇していない場合
- モーター・ジェネレーターの温度が高すぎない場合
- エンジン・コンパートメント・リッドが閉じている場合

フル電動モーター走行の前提条件が満たされていない場合、「**Eパワーフカ**」のメッセージがインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示され、シンボルがグレーになります。すべての前提条件が満たされるとすぐにEパワー・モードに戻ります。

インフォメーション

新車から最初の1,000kmは、車両が始動後すぐに電動モーターのみで走行するには、エンジン油温が約15℃以上である必要があります。

警告シンボル

ハイブリッド・システムまたは電動ステアリングに不具合や故障があると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに黄色または赤色の警告が表示されます。

警告シンボルマークと警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（37ページ）を参照してください。

走行中のハイブリッド機能と作動モード

下記で説明する機能と作動モードは、車両の作動状態に応じて車両コントロール・システムのハイブリッド・マネージャーにより自動的に設定されます。これにより、車両が常に最良の作動モードになるよう制御されます。

運転者が特別な走行モードを選択しなければならない状況では例外となります。

連続電気走行に関するインフォメーション：

▷ 「連続した電動モーター走行 – Eパワー・モード」（22ページ）を参照してください。

走行中の高電圧バッテリーへの充電に関するインフォメーション：

▷ 「走行中の充電 – Eチャージ・モード」（23ページ）を参照してください。

ハイブリッド車の発進

停止状態からの通常加速時、および約135km/hまでの走行時には、高電圧バッテリーが十分に充電されているなど、ハイブリッド・システムが作動可能状態であることを条件に、Eパワー・モードのモーター・ジェネレーターで車両を駆動することができます。内燃エンジンはOFFのままになります。

より大きな駆動力が必要な場合、内燃エンジンが自動的にONになります。

加速/ブースト

フル・スロットルの加速時には、内燃エンジンをモーター・ジェネレーターが補助し、両方の力で車両を駆動します。この作動モードは非常にエネルギー集約的であることからブースティングと呼び、わずかな時間しか利用できません。

ブースティング・モードの起動方法：

- Tiptronic Sセレクター・レバーが**D**の位置にある状態でキックダウンしてください、
  または
- スポーツ・モードではアクセル・ペダルをいっぱいまで踏み込んでください。

一定速度の走行

電動モーター走行

高電圧バッテリーの充電状態に応じ、約135km/hまでEパワー・モードの電動モーターのみによる走行ができます。内燃エンジンはOFFになります。より大きな加速力が必要な場合や、高電圧バッテリーの充電レベルが低い場合、内燃エンジンが自動的にONになります。運転者の加速スタイルと高電圧バッテリーの充電状態によっては、再び電動モーターで走行することができます。

内燃エンジンによる走行

車両は必要に応じて内燃エンジンにより効率的に駆動されます。モーター・ジェネレーターはオルタネーターとして作動し、走行中に高電圧バッテリーを充電します。高電圧バッテリーを充電することにより、内燃エンジンがより高い負荷範囲で作動し、効率が最大限に高まり、燃費が更に向上します。この作動モードは、負荷ポイント・シフトと呼ばれます。

インフォメーション

- 走行中、モーター・ジェネレーターはオルタネーターとしてのみ作動します。
  車両が停止している場合、高電圧バッテリーは作動中の内燃エンジンによって充電されません。
- 惰性走行や停止時など、内燃エンジンが必要ないときには、内燃エンジンが自動的にOFFになります。
  ブレーキ・システムやステアリング・システムの油圧回路およびエアコン・システムなど、主な車両システムは内燃エンジンをOFFにしても使用可能です。

惰性走行（駆動力なしの走行）

内燃エンジンの駆動力が必要ない場合（例えば高速道路で速度に余裕があるときなど）、内燃エンジンは駆動系から切り離され、自動的にOFFになります。

惰性走行は、約165km/h（スポーツ・モードでは約70km/h）までの速度で可能です。

追い越し時など、より大きな駆動力が必要な場合、内燃エンジンは自動的にONになります。

制動/回生

車両の制動時には、モーター・ジェネレーターはオルタネーターとして機能し、電気エネルギーを発生して高電圧バッテリーを充電します。内燃エンジンが作動状態の惰性走行時や下り坂を走行するときにも同様に作動します。

ハイブリッド車の停車

通常車両が停車すると、内燃エンジンは自動的にOFFになります。高電圧バッテリーの充電レベルが下がっている場合、またはヒーターやエアコンに大きな電力が必要な場合など、特別な場面では内燃エンジンをアイドリングさせる必要が生じることがあります。

▷ 内燃エンジンが自動的にOFFになっても、フット・ブレーキを踏むかセレクター・レバーを**P**位置にセットするなどして必ず車両を静止させてください。操作を怠った場合、車両が動き出す場合があります。

車両停止状態での降車

パワー・メーターの指針が**READY**を示しているとき、またはエンジンの自動停止後（運転席ドアが開いていて、ブレーキを解除している場合）などにガレージ・ドアを開くためなどの理由で車両から降車すると、エンジンは自動的に始動**しません**。

運転者が30秒以内に車両に戻った場合（運転席ドアが閉じられ、ブレーキを踏み込んでいる場合）、システム（モーター・ジェネレーターおよび内燃エンジン）は待機状態を維持します。

上記の条件が満たされなかった場合、エンジンを手動操作で始動する必要があります。

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**スタータ マニュアル**」のメッセージが表示されます。

インフォメーション

車両停止中にTiptronic Sセレクター・レバー位置**D**、**R**または**M**に締結している状態で運転席ドアを開くと、エレクトリック・パーキング・ブレーキがロックされます。

インストルメント・パネルのブレーキ警告灯と、スイッチのインジケーター・ライト(Ⓟ)が点灯します。

インフォメーション

内燃エンジンが作動した状態（運転席ドアが開いた状態でブレーキを解除している場合）で降車した場合、内燃エンジンは作動したままになります。

運転者が車両に戻った場合（運転席ドアが閉じられ、ブレーキを踏み込まれた状態）、エンジンを再度停止できます。

ハイブリッド車の始動

車両は、イグニッション・キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車）をイグニッション・ロック位置**2**に回すと始動します。

1. 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていないことを確認してください。必要な場合は車両プラグを車両充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み込んでください。
3. Tiptronic Sセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてください。
4. イグニッション・キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**2**に回してください。

パワー・メーターの指針が**READY**位置に移動し、信号音が鳴ります。通常の運転操作で発進することができます。

指針位置**READY**に関するインフォメーション：

▷ 「指針位置READY」（11ページ）を参照してください。

インフォメーション

車両プラグが充電ポートに挿入されている状態で車両を始動すると、メッセージ「**ジュウデンプラグ トリハズシテ スタート**」がインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 車両プラグを車両充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。

作動準備

パワー・メーターの指針位置**READY**は、車両の始動時においてシステム（モーター・ジェネレーターおよび内燃エンジン）の作動準備が整ったことを表示しています。

指針位置**READY**に関するインフォメーション：

▷ 「指針位置READY」（11ページ）を参照してください。

ハイブリッド・システムが作動可能である場合に車両を始動すると、次の2つの走行モードのいずれかに切り替わります。

内燃エンジン非作動状態での作動準備

高電圧バッテリーが適切に充電された状態では、車両は自動的にEパワー・モードで始動します。充電レベルが低い場合などでEパワー・モードが停止すると、車両はハイブリッド・モードになります。

ハイブリッド・モードでは、高電圧バッテリーの充電済みエネルギーを可能な限り節約し、電動モーターでの走行距離を延ばします。

内燃エンジン作動状態での作動準備

電動モーター走行の作動条件が満たされていない場合、車両を始動したときに内燃エンジンが始動します。タコメーターにはアイドル回転数が表示されます。

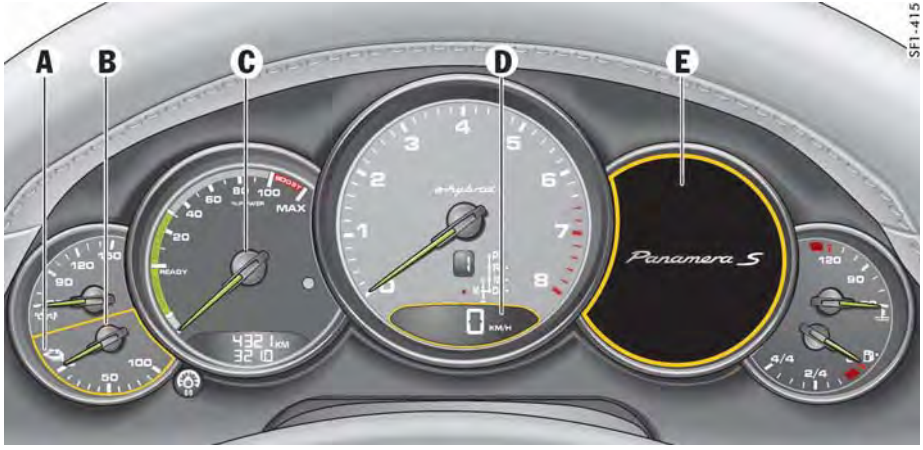
ポルシェ・カー・コネクト＊

スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」を使用して、移動通信ネットワーク経由で車両と接続できます。ここでは、車両固有の情報をスマートフォンから直接呼び出すことができ、選択した設定をアプリケーションを使用して直接車両で実施することができるようになります。

▷ 取扱説明書の「ポルシェ・カー・コネクト＊」の章を参照してください。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリケーションのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

＊ 日本仕様に設定はありません。



インストルメント・パネルの表示

A 充電ポート位置の表示
B バッテリー充電状態の表示
C パワー・メーター
D デジタル・スピードメーター
E マルチファンクション・ディスプレイの「**エナジーフロー**」および「**E-Power Assist (Eパワー・アシスト)**」表示
12ページを参照してください。

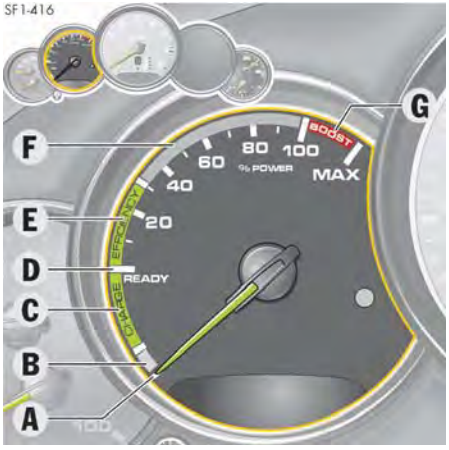
⚠ 警告 ハイブリッド・ディスプレイの使用

ハイブリッド・ディスプレイを使用することにより、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

▷ ハイブリッド・ディスプレイは、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみ使用してください。

インフォメーション

高電圧バッテリーに蓄えられている現在のエネルギーおよび走行スタイルを考慮し、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊およびポルシェ・カー・コネクト・アプリケーション＊はインストルメント・パネルに電動モーターによって走行可能な距離を表示します。
電動モーターによる走行可能距離を計算する際、冷暖房出力要求を予測してエアコン・システムの設定および外気温度も考慮に入れられます。
その結果、例えばエアコン・システムのA/Cモードをオフにすると、表示される残りの電気走行距離が長くなることがあります。



A イグニッションOFF
B メカニカル・ブレーキ・アシスタンスによる回生
C CHARGEゾーン：回生
D READY表示：システムは作動準備状態
E EFFICIENCYゾーン：電気走行を重視
F 内燃エンジンの出力による走行を重視
G BOOSTゾーン：最大システム出力

パワー・メーター

パワー・メーターは、車両の走行または回生に使用されるモーター・ジェネレーターおよび内燃エンジンのシステム駆動力を示します。

指針位置READY

指針位置**READY**は、車両始動時にシステム（モーター・ジェネレーターおよび内燃エンジン）が作動可能であることを表示しています。
車両の始動に関するインフォメーション：

▷ 「ハイブリッド車の始動」（10ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

内燃エンジンは指針が**READY**位置で以下の場合に自動的に始動します。

- ハイブリッド・システムが作動温度に達していない場合
- 高電圧バッテリーが十分に充電されていない場合
- エンジン油温が0°C未満（または新車からの走行距離が1,000km未満の場合は15°C以下）
- エンジン・コンパートメント・リッドが開いている場合

EFFICIENCY表示ゾーン：
電動モーター走行を重視

モーター・ジェネレーターが単独または内燃エンジンと共に車両を駆動します。

30%～100%の表示ゾーン：
内燃エンジンを重視

内燃エンジンが単独またはモーター・ジェネレーターと共に車両を駆動します。

BOOST表示ゾーン：
キックダウン中の最大システム出力

モーター・ジェネレーターが内燃エンジンを補助して車両を駆動します。

CHARGE表示ゾーン：
エネルギーを回収/回生

モーター・ジェネレーターは制動時などにオルタネーターとして機能し、高電圧バッテリーを充電します。

CHARGE表示ゾーン下のグレー表示ゾーン：
エネルギーを回収/回生

メカニカル・ブレーキ・アシスタンスによるエネルギーの回収/回生。

マルチファンクション・ディスプレイのエネルギー・フロー・メニュー

ハイブリッド・システムの現在の作動モード、高電圧バッテリーの充電状態、および電動モーターによる走行可能距離が、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに関するインフォメーション：

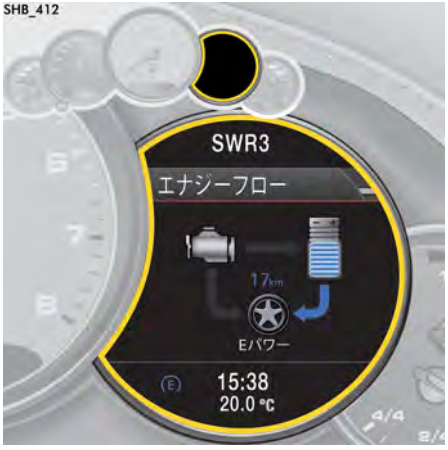
▷ 取扱説明書を参照してください。

1. メインメニュー：「**エナジーフロー**」を選択してください。

カラー表示の矢印が、内燃エンジン、高電圧バッテリー、および駆動輪の間のエネルギーの流れを表示します。

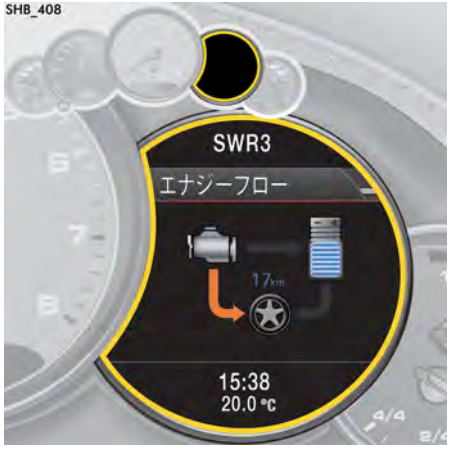
- **オレンジの矢印**
  内燃エンジンから出力されるエネルギー・フロー
- **青い矢印**
  高電圧バッテリーに出入りするエネルギー・フロー
- **グレーの矢印**
  エネルギー・フローなし

高電圧バッテリーの充電状態は、青色の充電バーの本数により表示されます。高電圧バッテリーが完全に充電されると、10本のバーすべてが青色になります。



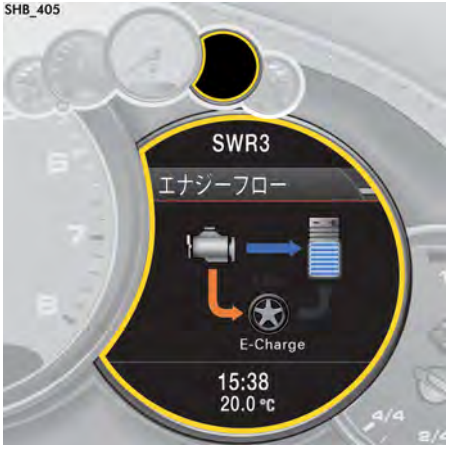
モーター・ジェネレーターによる走行

モーター・ジェネレーターに高電圧バッテリーから電気エネルギーが供給され、車両が駆動されます。このプロセスの間、高電圧バッテリーは放電します。

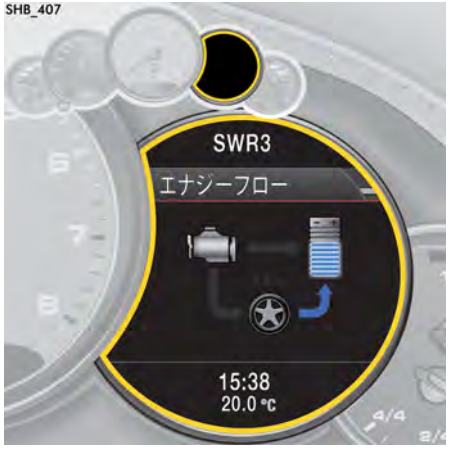


内燃エンジンによる走行
内燃エンジンが車両を駆動します。

内燃エンジンとモーター・ジェネレーターによる走行
内燃エンジンとモーター・ジェネレーターがどちらも車両を駆動します（ブースティングなど）。このプロセスの間、高電圧バッテリーは放電します。

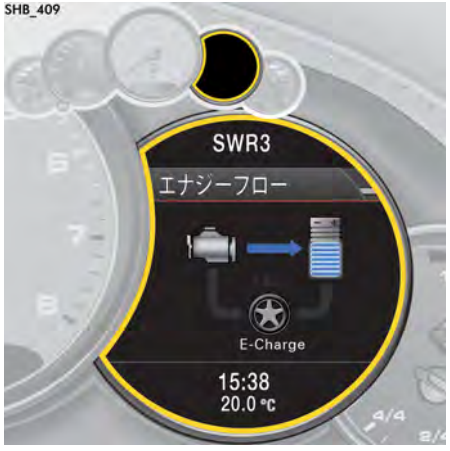


内燃エンジンによる走行と高電圧バッテリーへの充電
内燃エンジンが車両を駆動し、モーター・ジェネレーターを介して高電圧バッテリーを充電します。モーター・ジェネレーターはこの場合、オルタネーターとして機能します。
高電圧バッテリーの同時充電により、内燃エンジンの負荷ポイントが上昇します。その結果、内燃エンジンが最適な効率の範囲内で作動します。
走行中の高電圧バッテリーへの充電に関するインフォメーション：
▷ 「走行中の充電 – Eチャージ・モード」（23ページ）を参照してください。



エネルギーの回収/回生または惰性走行

モーター・ジェネレーターは、制動時や惰性走行時などにオルタネーターとして機能し、高電圧バッテリーを充電します。

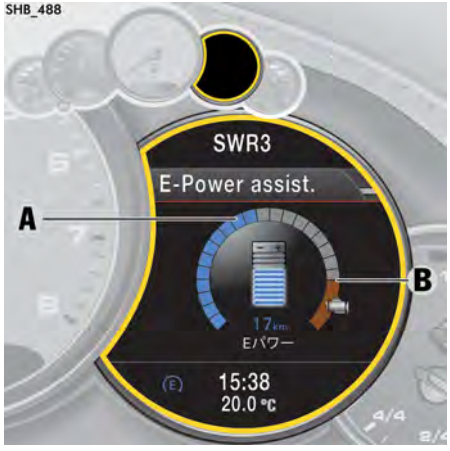


内燃エンジン作動状態での停車

車両が停止している状態で内燃エンジンがモーター・ジェネレーターを介して高電圧バッテリーを充電します。モーター・ジェネレーターはこの場合、オルタネーターとして機能します。

停止モード

エンジン・オート・ストップ機能を使用した車両停車時などでは、内燃エンジンがOFFになります。



マルチファンクション･ディスプレイのEパワー・アシスト・メニュー

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示される「**E-Power Assist**」メニューは、電気駆動力の調節の補助として役立ちます。
セグメント・ディスプレイ**A**はアクセル・ペダルの動きを表示します。アクセル・ペダルを踏み込むとより多くの電力が出力されます。
内燃エンジンは出力しきい値**B**に達すると始動します。

- **青色のセグメント**
  モーター・ジェネレーターによる駆動
- **オレンジのエリア**
  内燃エンジンの作動

マルチファンクション･ディスプレイに関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書を参照してください。

1. メインメニュー：「**E-Power Assist**」を選択してください。

Eパワー・モードを作動させると、アクセル・ペダルに付加されたプレッシャー・ポイントが機能します。
内燃エンジンはこのプレッシャー・ポイントを超えた出力しきい値**B**でのみ作動します。
Eパワー･モードに関するインフォメーション：

▷ 「連続した電動モーター走行 – Eパワー・モード」（22ページ）を参照してください。

インフォメーション

- 高電圧バッテリーの充電状態および電動モーター走行が可能な距離も「**E-Power Assist**」メニューに表示されます。
  高電圧バッテリーの充電状態は、青色の充電バーの本数により表示されます。
  高電圧バッテリーが完全に充電されると、10本のバーすべてが青色になります。
- Eチャージ・モードでは、「**E-Power Assist**」メニューのセグメント表示はアクセル・ペダルの動きを表示**しません**。セグメントがグレーに変わります。

マルチファンクション・ディスプレイの設定

マルチファンクション･ディスプレイに関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ」の章を参照してください。

電動モーター走行のデータを表示する

メイン・メニュー「**トリップ**」を使用して、ハイブリッド･モードの走行データの呼び出しとリセットができます。

1. メインメニュー：「**トリップ**」を選択してください。

ハイブリッド･モードの走行データを表示する

走行データ表示「**キテン**」、「**トータル**」および「**モクテキチマデ**」に加えて、ハイブリッド･モードの走行データも表示することができます。

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」を選択してください。
2. 「**4 – Eソウサ**」を選択し、決定してください。

このオプションは現在運転中の走行データです。
選択できる表示項目の種類：

- 「**Zero Emiss.**」– 電動モーターのみで走行した距離
- 「**Range**」– 燃料残量で走行可能な距離（燃料タンク・レベル）
- 「**Eレンジ**」– 電動モーターにより走行可能な距離（バッテリー充電レベル）

イグニッションをOFFにして2時間以上駐車すると、停止前の走行データは自動的にリセットされます。

走行データをリセットする

選択した走行データをリセットできます。

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」を選択してください。
2. 任意の走行データを選択し、決定してください。
3. 「**リセット**」を選択し、決定してください。

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの**MFS**ボタンの機能を個別に変更できます。

▷ 取扱説明書の「マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊」の章を参照してください。

Panamera S E-Hybridでは、**MFS**ボタンに以下の機能を追加で割り当てることができます：

– 「**Eパワー**」
  Eパワー・モードの作動/停止
– 「**Eチャージ**」
  Eチャージ・モードの作動/停止

乗車タイマーのプログラミング

「**Dep. タイマ**」メニューで、3種類の乗車タイマーをプログラムすることができます。

この機能が作動すると、プログラミングした時間までに十分な時間があり、車両プラグが挿入されている場合、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに完全に充電されます。

各乗車タイマーは1回（「**シングルタイマ**」）または定期的（「**ハンプクタイマ**」）のいずれかに設定可能です。また、車内温度を選択した時間までにあらかじめ調節できます（冷房/暖房）。

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」>「**Dep.タイマ**」を選択し、決定してください。

インフォメーション

– プログラムする乗車時間は未来時刻になるようにしてください。
– 車両充電ポートの充電タイマー機能の作動および停止に関するインフォメーション：「充電タイマー機能の作動/解除」(30ページ)を参照してください。

シングル・タイマーのプログラミング

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」>「**Dep.タイマ**」>>「**1: Dep. タイマ 1**」または>>「**2: Dep. タイマ 2**」または>>「**3: Dep. タイマ 3**」を選択してください。
2. 「**シングルタイマ**」を選択し、決定してください。
3. 任意の時刻と日付を設定し、決定してください。
   プログラムされた日時は「**Dep. タイマ 1**」、「**Dep. タイマ 2**」または「**Dep. タイマ 3**」メニューに表示されます。

ハンプク・タイマーの曜日のプログラミング

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」>「**Dep.タイマ**」>>「**1: Dep. タイマ 1**」または>>「**2: Dep. タイマ 2**」または>>「**3: Dep. タイマ 3**」を選択してください。
2. 「**ハンプクタイマ**」を選択し、決定してください。
3. 1つの曜日（「**ゲツヨウビ**」など）、または複数の曜日（「**ゲツヨウビ**」および「**ニチヨウビ**」など）を選択し、決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ハンプク・タイマーの時間のプログラミング

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Dep.タイマ**」
   > >「**1: Dep. タイマ 1**」または
   > >「**2: Dep. タイマ 2**」または
   > >「**3: Dep. タイマ 3**」
   > >>「**ハンプクタイマ**」
   を選択してください。
2. 「**ジカン**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の時間を選択し、決定してください。
   プログラムされた日時は「**Dep. タイマ 1**」、「**Dep. タイマ 2**」または「**Dep. タイマ 3**」メニューに表示されます。

乗車タイマーの作動/解除

プログラムされたタイマー（シングル・タイマーおよびハンプク・タイマー）を作動および解除できます。

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Dep.タイマ**」
   >「**1: Dep. タイマ 1**」または
   >「**2: Dep. タイマ 2**」または
   >「**3: Dep. タイマ 3**」
   を選択してください。
2. 「**サドウ**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 乗車タイマーが作動します。
   ☐ 乗車タイマーを解除します。

インフォメーション

以下の表示で乗車タイマーが作動しているか確認できます。

- 「**Dep. タイマ**」メニューのプログラムされたタイマーの前にチェックマークが表示されます。
- 車両プラグが挿入されていれば、充電タイマー・ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  充電タイマー機能に関するインフォメーション：
  「充電タイマー機能の作動/解除」(30ページ)を参照してください。
- 車両プラグが挿入されていれば、マルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアにタイマー・シンボルが表示されます。
  上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：
  「上部ステータス･エリアの表示を変更する」(19ページ）を参照してください。

タイマーにより制御されるパーキング・プレエアコンの作動/解除

車内温度も乗車タイマーを使用して選択した時間までに事前に調節できます（冷房/暖房）。電動A/Cコンプレッサーおよびヒーターが車内を快適な温度にします。

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Dep. タイマ**」
   >「**1: Dep. タイマ 1**」または
   >「**2: Dep. タイマ 2**」または
   >「**3: Dep. タイマ 3**」
   を選択してください。
2. 「**クライメート**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ パーキング・プレエアコンが作動します。
   ☐ パーキング・プレエアコンを解除します。

インフォメーション

- 車両停止時の設定に関係なく、風量、エア配分および温度設定を自動で調節することができます。
- 車内温度を選択した時間までに事前に調節できます（冷房/暖房）。プレコンディショニングは、未来時刻にしか設定できません。

Precool/heat timer機能の作動/解除

Precool/heat timerメニューでは、乗車タイマーを使用して選択した時間までに車両プラグが挿入されていなくても事前に冷房/暖房できます。
電動A/Cコンプレッサーおよびヒーターが車内を快適な温度にします。
各タイマーは1回（「**シングルタイマ**」）または定期的（「**ハンプクタイマ**」）のいずれかに設定可能です。

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Precool/heat timer**」
   を選択し、決定してください。

インフォメーション

プログラムする乗車時間は未来時刻になるようにしてください。

シングル・タイマーのプログラミング

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Precool/heat timer**」
   >「**タイマ**」
2. 「**シングルタイマ**」
   を選択し、決定してください。
3. 任意の時刻および日付を選択し、決定してください。
   プログラムされた日時は「**タイマ**」メニューに表示されます。

ハンプク・タイマーの曜日のプログラミング

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Precool/heat timer**」
   >「**タイマ**」
2. 「**ハンプクタイマ**」
   を選択し、決定してください。
3. 1つの曜日（「**ゲツヨウビ**」など）、または複数の曜日（「**ゲツヨウビ**」および「**ニチヨウビ**」など）を選択し、決定してください。

ハンプク・タイマーの時間のプログラミング

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   >「**Precool/heat timer**」
   >「**タイマ**」
   >「**ハンプクタイマ**」
2. 「**ジカン**」
   を選択し、決定してください。
3. 任意の時間を選択し、決定してください。
   プログラムされた時間は「**タイマ**」メニューに表示されます。

インフォメーション

プレコンディショニングは、選択した時間の最大10分後に再開します。

パーキング・プレエアコンの作動/解除

パーキング・プレエアコン・システムは内燃エンジンが作動していない状態でも、車室内を暖めたり冷したりすることができます。
電動A/Cコンプレッサーおよびヒーターが車内を快適な温度にします。

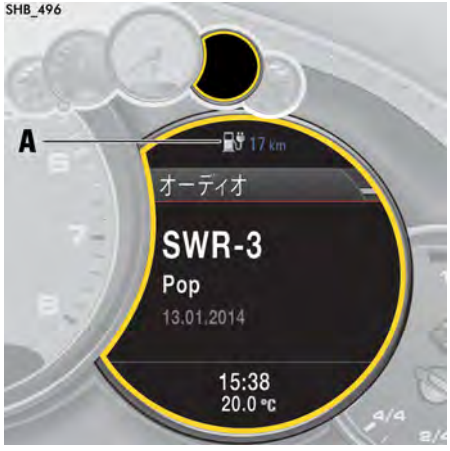
1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   を選択し、決定してください。
2. 「**Maintain temp.**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ パーキング・プレエアコンが作動します。
   ☐ パーキング・プレエアコンを解除します。

パーキング・プレエアコンの作動条件：
- イグニッションがOFFのとき
- 高電圧バッテリーが適切に充電されている（15%以上）

車両が走行可能状態で（指針位置**READY**）、停車している場合、パーキング・プレエアコンは最大30分後にOFFになります。
パーキング・プレエアコンがOFFになった場合、「**Maintain temp.**」メニューを選択して再度作動させなければなりません。

インフォメーション

- 車両停止時の設定に関係なく、風量、エア配分および温度設定を自動で調節することができます。
- パーキング・プレエアコンを ON にすると、電動モーターによる走行可能な距離が減少します。



上部ステータス・エリアの表示を変更する

マルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリア**A**にハイブリッド車用情報を割り当てることができます。

1. メイン・メニュー：「**シャリョウ**」
   > 「**セッテイ**」
   > 「**ディスプレイ**」
   > 「**ジョウゲン**」を選択してください。
2. 「**E ディスプレ**」を選択し、決定してください。

高電圧バッテリーの充電状態によって、以下の情報が表示されます：

車両プラグが挿入されていない場合、電動モーターによる走行可能な距離が表示されます。

車両プラグが挿入されていて、乗車タイマーがプログラムされている場合、タイマーのシンボルが表示されます。

車両プラグの状態および高電圧バッテリーの充電プロセスが以下のシンボルにより表示されます：

車両プラグが挿入され、ロックされています。高電圧バッテリーが充電されている、もしくは充電が終了しています。

車両プラグが挿入されているが、ロックされていません。車両が電源に接続されていません。高電圧バッテリーが充電されていません。

高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

高電圧バッテリーが完全に充電されるまでの残り時間が車両プラグ・シンボルの後に表示されます。

インフォメーション

車両充電ポートの充電および接続表示に関するインフォメーション：

▷ 「車両充電ポートの充電および接続表示」（29ページ）を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ディスプレイ＊

ハイブリッド・ディスプレイは、ハイブリッド・ドライブ・システムの各構成部品間のエネルギーの流れに関する情報と、内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の走行時間に関する記録情報を表示します。

警告 ハイブリッド・ディスプレイの使用

ハイブリッド・ディスプレイを使用することにより、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

▷ ハイブリッド・ディスプレイは、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみ使用してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)に関するインフォメーション：

▷ PCM 取扱説明書（別冊）＊を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

1. 「**シャリョウ**」ボタンを押してください。
2. [ ][ ]シンボルを押して、ご希望のハイブリッド・ディスプレイを選択してください。

利用可能なハイブリッド・ディスプレイ：
- 「**ハイブリッド・エネルギー・フロー**」
  内燃エンジン、高電圧バッテリー、ハイブリッド・モジュールおよび駆動輪の間のエネルギーの流れを表示します。
- 「**ハイブリッド・ゼロ・エミッション**」
  内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の走行時間（電動モーター走行、停止モード、惰性走行、回生）に関する記録情報。

インフォメーション

ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイは、走行中に排気ガスを排出しなかった時間を示します。

ハイブリッド・エネルギー・フロー＊

ハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイは、リアル・タイムのエネルギー・フローを矢印のアニメーションで表示します。このディスプレイは、内燃エンジン、高電圧バッテリー、ハイブリッド・モジュールおよび駆動輪を対象とします。

バッテリーの充電状態は、青色の充電バーの本数により読み取れます。

エネルギー・フローの方向と種類は、異なる色のシンボルにより区別されます：
- **オレンジの三角形**
  内燃エンジンがONになっています。
  エンジンの発生エネルギーは走行中に車両の駆動に利用されます。停止時には、バッテリーの充電に使用されます。
- **青い三角形**
  高電圧バッテリーのエネルギーが車両の走行に使用されます。
- **青とオレンジの三角形**
  バッテリーと作動中の内燃エンジン両方のエネルギーが車両の走行に使用されます。
- **緑の三角形**
  車両が下り坂などで惰性走行しているか、モーター・ジェネレーターの制動作用により減速されています。この場合、モーター・ジェネレーターはオルタネーターとして機能します。モーター・ジェネレーターの発生エネルギーは高電圧バッテリーの充電に利用されます。
- **ハイブリッド・モジュールからバッテリーへの青い矢印**
  高電圧バッテリーが充電されています。
- **バッテリーからハイブリッド・モジュールへの青い矢印**
  高電圧バッテリーからのエネルギーが、車両の電動モーター駆動や、電動エアコン・コンプレッサーなど、他の負荷に利用されています。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両充電ケーブルを使用して高電圧バッテリーを充電している場合、ハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイに表示されます。充電プロセスが以下の各種シンボルにより表示されます。

車両プラグが挿入され、ロックされています。
高電圧バッテリーが充電されている、もしくは充電が終了しています。

車両プラグが挿入され、ロックされています。
高電圧バッテリーが充電されている、もしくは充電が完了していて、乗車タイマーがプログラミングされています。

車両プラグが挿入されているが、ロックされていません。車両が電源に接続されていません。
高電圧バッテリーが充電されていません。

車両プラグが挿入されているが、ロックされていません。車両が電源に接続されていません。
高電圧バッテリーは充電されていませんが乗車タイマーがプログラミングされています。

高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

高電圧バッテリーの充電に関するインフォメーション：
▷ 「高電圧バッテリーの充電」（25ページ）を参照してください。

ハイブリッド・ゼロ・エミッション＊

ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイは、現在の走行に関する記録情報を表示します：

– 内燃エンジン停止時間のグラフ表示
ここには、内燃エンジンが停止した時間が5分間隔のパーセンテージで示されます。
– 内燃エンジン停止時間の合計（分、秒）

インフォメーション

イグニッションをOFFにしてから約2時間以上駐車すると、ディスプレイは自動的にリセットされます。

Eトリップ＊

Eトリップ・ディスプレイには以下のデータが表示されます：

– 電動モーターにより走行した距離
– 車両の現在の走行可能距離
– 電動モーターを使用して車両が走行可能な距離

＊ 日本仕様に設定はありません。

連続した電動モーター走行 – Eパワー・モード

初期状態で作動したEパワー・モードは、約135km/hまでの速度で電動モーター走行が可能です。
ハイブリッド・システムの状態が対応可能であれば、約18km～36kmの距離を電動モーターのみで走行できます。

インフォメーション

走行スタイル、エアコン使用状況およびエネルギーを大量に必要とする機器の使用の程度によって、電動モーターによる走行可能距離は大きく左右されます。環境に配慮した運転およびエアコン・システムなどのエネルギーを大量に必要とする機器の使用を控えることは、電動モーターによる走行可能距離を延ばすための重要なポイントです。

Eパワー・モードの前提条件

Eパワー・モードを作動させるには、次の前提条件を満たさなければなりません。

– 高電圧バッテリーが十分に充電されている
– セレクター・レバーを**M**に締結して**いない**

Eパワー・モードが使用可能かどうかはインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの下部ステータス・エリアのEシンボルにより表示されます。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイのEパワー・モード・ステータス・ディスプレイに関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・モードのステータス表示」（23ページ）を参照してください。

Eパワー・モードの作動/停止

▷ E-POWERボタンを押してください。
Eパワー・モードが作動すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
「**Eパワーサドウ**」がマルチファンクション・ディスプレイに表示され、「**Eパワー**」が「**エナジーフロー**」および「**E-Power Assist**」メニューに表示されます。

Eパワー・モードの作動のための前提条件が満たされていない場合は、メッセージ「**Eパワーフカ**」が、Eパワー・モード作動後インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに関する詳細インフォメーション：
取扱説明書の「マルチファンクション・ディスプレイの操作」の章を参照してください。

Eパワー・モードの停止時、車両はハイブリッド・モードになります。このモードでは、車両コントロール・システムのハイブリッド・マネージャーが自動的に走行モードを切り替えます（モーター・ジェネレーターまたは内燃エンジンによる駆動、またはモーター・ジェネレーターと内燃エンジン両方による駆動）。
ハイブリッド・モードでは、高電圧バッテリーのエネルギーを可能な限り節約し、Eパワー・モードの電動モーター走行を増加可能にするために電動モーター走行が制限されます。

電動モーター駆動力の調節

電動モーター駆動力の調節を補助するために、Eパワー・モードの作動中、アクセル・ペダルの追加のプレッシャー・ポイントが機能します。このプレッシャー・ポイントを越えると、内燃エンジンがONになります。
内燃エンジンがONになるまでのアクセル・ペダルの動きは、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの「**E-Power Assist**」メニューに表示されます。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの「**E-Power Assist**」メニューに関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・アシスト・メニュー」（15ページ）を参照してください。

マルチファンクション･ディスプレイのEパワー・モードのステータス表示

選択したメニューに関係なく、Eパワー・モードが使用可能かどうかはインストルメント･パネルのマルチファンクション･ディスプレイの下部ステータス・エリアの(E)シンボルにより表示されます。
以下が表示される可能性があります：

(E) Eパワー・モード作動中（アクセル・ペダルの追加プレッシャー・ポイントが使用可能になります）。

(E) Eパワー・モードが使用可能で、E-POWERボタンでONにすることができます。

(E) Eパワー・モードは作動中ですが、システムによって時折使用できなくなります（内燃エンジンの自動点検中など）。

表示なし　高電圧バッテリーが十分に充電されていないため、Eパワー・モードが中断される、または自動的に停止します。

インフォメーション

給油後、燃料タンク・ベンチレーション・システムを再作動するためにEパワー・モードで内燃エンジンが自動的に始動します。これには数分かかります。
車両を長時間高温下で駐車した場合も、燃料タンク・ベンチレーション・システムが再作動することがあります。電動モーター走行の条件が再度満たされると、電動モーター走行を再開できます。システムが作動可能になるまで、(E)シンボルが、インストルメント・パネルのマルチファンクション･ディスプレイに表示されます。

Eパワー・モードの自動中断

次のいずれかの条件が成立すると、内燃エンジンが始動しEパワー・モードは**中断**されます：
- 運転者により過度の加速が行われた場合
  車両が約135km/h以上の速度で走行している、またはアクセル･ペダルのプレッシャー･ポイントを超えた場合
- 高電圧バッテリーの温度が高すぎる/低すぎる場合
- モーター・ジェネレーターの温度が高すぎる場合

マルチファンクション・ディスプレイの「**エナジーフロー**」または「**E--Power Assist**」メニューの「**Eパワー**」が非表示になります。
電動モーター走行の条件が再度満たされると、Eパワー・モードが自動的に再開します。「**Eパワー**」が再度表示されます。

Eパワー・モードの自動停止

次のいずれかの条件が成立すると、Eパワー・モードは**停止**します：
- Eチャージ・モードが作動した場合
- スポーツ・モードが作動した場合
- ハイブリッド・モードが作動した場合
- セレクター・レバーが**M**に締結された場合
- 高電圧バッテリーの充電が不足した場合

マルチファンクション･ディスプレイの下部ステータス・エリアに「**Eパワーヒサドウ**」が表示されます。マルチファンクション・ディスプレイの「**エナジーフロー**」または「**E-Power Assist**」メニューの「**Eパワー**」が非表示になります。
Eパワー・モードを再起動するには、E-POWERボタンを押してください。

走行中の充電 – Eチャージ・モード

走行中に高電圧バッテリーを充電することができます。この場合、内燃エンジンの負荷ポイントが効率的な範囲まで上昇し、モーター・ジェネレーターは高電圧バッテリーの充電のためにオルタネーターとして機能します。
このモードは内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に特に役に立ちます。放電した高電圧バッテリーを高速道路走行中に充電し、市街地などで電動モーターのみの走行ができます。

インフォメーション

- Eチャージ･モードを使用して高電圧バッテリーを完全に充電することはできません。適度なエネルギー限度までのみ充電可能です。
- 市街地の渋滞などでEチャージ･モードが作動している場合、低速走行時のハイブリッド機能の使用によって充電プロセスの効率性が非常に悪くなります。

Eチャージ・モードの前提条件

Eチャージ・モードを作動させるには、次の前提条件を満たさなければなりません：
- 高電圧バッテリーが完全に充電されて**いない**場合

Eチャージ・モードの作動/解除

▷ E-CHARGEボタンを押してください。
Eチャージ・モードが作動すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
「**E-Chargeサドウ**」がマルチファンクション・ディスプレイの下部ステータス・エリアに表示され、「**E-Charge**」が「**エナジーフロー**」および「**E-Power Assist**」メニューに表示されます。

高電圧バッテリーがすでに完全に充電されているなど走行中の充電のための前提条件が満たされていない場合は、Eチャージ・モードを作動するとすぐに「**E--Chargeフカ**」のメッセージがインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに関するインフォメーション：
取扱説明書の「マルチファンクション・ディスプレイの操作」の章を参照してください。

Eチャージ・モードの自動中断

次のいずれかの条件が成立すると、走行中の充電は**中断**されます：
- 内燃エンジンの温度が低すぎる場合
- 運転者により過度の加速が行われた場合
- 高電圧バッテリーの温度が高すぎる/低すぎる場合
- モーター・ジェネレーターの温度が高すぎる場合

マルチファンクション・ディスプレイの「**エナジーフロー**」または「**E-Power Assist**」メニューの「**E-Charge**」が非表示になります。

これらの条件がクリアになると、充電プロセスが自動的に再開し、「**E-Charge**」が再度表示されます。

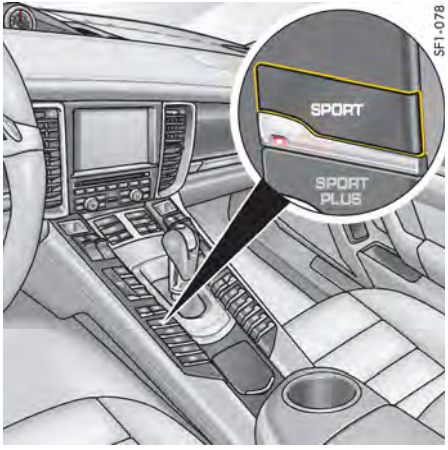
Eチャージ・モードの自動停止

次のいずれかの条件が成立すると、走行中の充電は**停止**します：
- Eパワー・モードが作動した場合
- スポーツ・モードが作動した場合
- セレクター・レバーが**M**に締結された場合
- 高電圧バッテリーの充電プロセスが終了した場合

マルチファンクション・ディスプレイの下部ステータス・エリアに「**E-Charge OFF**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの「**エナジーフロー**」および「**E-Power Assistt**」メニューの「**E-Charge**」が非表示になります。

Eパワー・モードを再起動するには、E-CHARGEボタンを押してください。



スポーツ・モード

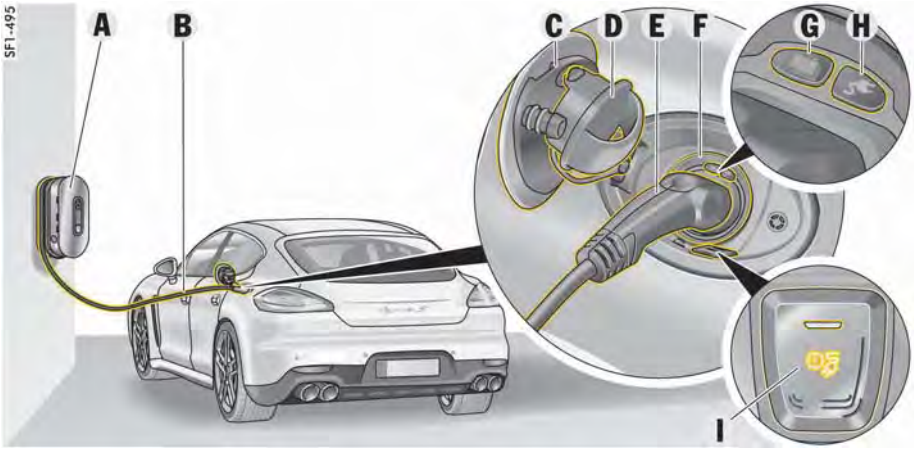
ハイブリッド・システムはスポーツ・モード作動時にも利用できます：
- アクセル・ペダルを約80%踏み込むと、ブースティング・モードが作動します。
キックダウンは必要ありません。
- 内燃エンジンは、惰性走行時などで約70km/hを下回った場合にのみOFFになります。
- Tiptronic Sのシフト・ポイントがより高速方向に変更されます。

スポーツ・モードの作動/解除

▷ SPORTボタンを押してください。
スポーツ・モードが作動すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

Eパワー・モードまたはEチャージ・モードを作動するとスポーツ・モードは解除されます。



充電装置の概要

下記の装置が充電プロセスに必要です：

A ポルシェ充電ドック
（ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)の収納用）

B ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)
（車両充電ケーブル、コントロール・ユニットを含む）

ポルシェ充電ドックの取扱説明書（別冊）およびポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)用取扱説明書を参照してください。

C 充電ポート・リッド（左側、従来のフィラー・フラップと反対側）

D 車両充電ポート保護用カバー

E 車両プラグ

F 車両充電ポート

G 高電圧バッテリー充電状態表示
29ページを参照してください。

H 車両プラグ接続状態表示
29ページを参照してください。

I 充電タイマー機能
30ページを参照してください。

高電圧バッテリーの充電

できるだけ多くの電気モーター走行をするために、車両を一晩駐車するときなどは高電圧バッテリーを充電することを推奨します。

高電圧バッテリーの充電プロセスは充電タイマー機能により任意的に制御されます。この機能が作動すると、プログラミングした時間までに十分な時間がある場合、プログラミングされた時間までに高電圧バッテリーの完全充電が終了するように充電が実施されます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のマルチファンクション・ディスプレイとインストルメント・パネルのバッテリー充電状態表示に表示されます。

▷ 「インストルメント・パネルの表示」（11ページ）を参照してください。

⚠ 危険 感電、短絡、火災、爆発、火傷

間違った充電プロセス、一般に適用される安全上の注意事項を遵守しない、不適切または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いにより、感電、短絡、爆発、火災、または火傷を生じる危険があります。

▷ 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは必ず専門家が行ってください。

▷ 損傷した、または汚れた電気ソケットに車両充電ケーブルを接続しないでください。

▷ 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。

- ▷ 延長ケーブル、ケーブル・リール、電源タップ、またはトラベル・アダプターを使用しないでください。
- ▷ 高電圧バッテリー充電時には、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電プロセスが終了してから、車両充電ケーブルを電気ソケットから外してください。
- ▷ 電気ソケットおよびプラグ接続は水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- ▷ 電気部品を改造または修理しないでください。
- ▷ 雷雨のときはポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)を主電源から外してください。
- ▷ プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検され承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
  ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)とポルシェ充電ドックの併用を推奨します。
- ▷ ポルシェ充電ドックおよびポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- ▷ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。
- ▷ 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート・リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。

⚠ 警告 固定されていない充電装置

車両充電ケーブルを固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置に置いていると、ブレーキ/ステアリング操作中や事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▷ 車両充電ケーブルは、車内で固定していない状態で運搬しないでください。常にラゲッジ・コンパートメントの充電バッグ内に収納してください。
- ▷ 車両充電ケーブルは常にラゲッジ・コンパートメント内に収納し、決して乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。

⚠ 警告 ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン周りの可動部品

充電プロセス中など、高電圧バッテリーやオンボード充電器の過熱を回避するために、エンジン停止時であってもエンジン・ルームのラジエーター・ファンが回転する可能性があります。エンジン・コンパートメントでの作業中、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルトなどの作動部に巻き込まれないように十分注意してください。

- ▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは車両の前部にあります。
- ▷ 身体の一部、衣服、アクセサリーなどがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、その他の可動部品に巻き込まれないように十分注意してください。

知識

電源の過電圧による充電装置およびオンボード充電器の損傷の恐れ

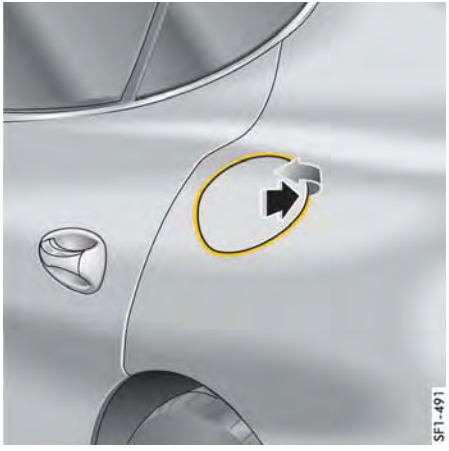
- ▷ 雷雨のときは車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。

インフォメーション

回路の過負荷により電気回路のヒューズが切れる恐れがあります。高電圧バッテリーの充電プロセスは、ヒューズを交換した後のみ再開できます。

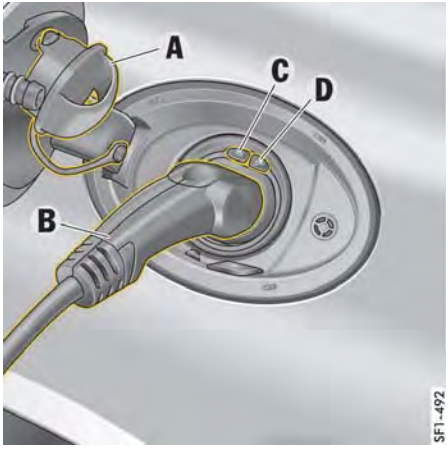
高電圧バッテリーの充電に関する指示

- 車両停止時、車両充電ポートから100V～240Vの定格電圧範囲で高電圧バッテリーを充電することができます。
- プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの車両充電ケーブルのみを使用してください(IEC 62196-2またはSAE J1772に準拠して標準化された車両プラグおよびIEC 61851-1またはSAE J1772（モード2および3）にしたがった充電プロセス)。また、法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)とポルシェ充電ドックの併用を推奨します。ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)用取扱説明書（別冊）および車両充電ケーブル用取扱説明書を参照してください。
- 保護機能の付いていない車両充電ケーブル(IEC 61851-1またはSAE J1772(モード1)に準拠して標準化）には対応していません。
- 長時間車両を駐車する場合は必ず車両を電源に接続してください。
- 充電プロセス中の車両の温度は約–20°C～+40°Cでなければなりません。



車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

1. エンジンを停止して、イグニッションをOFFにしてください。
2. セレクター・レバーを**P**位置に入れてください。
3. 充電ポート・リッドの後部（**矢印**）を押すと、充電ポート・リッドが開きます。
   このとき、車両のロックを解除する必要があります。



4. カバー**A**を外し、充電ポート・リッドのブラケットにはめ込みます。
5. 必要な場合は車両充電ケーブルを電気ソケットに接続してください。
   ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)用取扱説明書（別冊）および車両充電ケーブル用取扱説明書を参照してください。
6. 車両プラグ**B**を充電ポートに完全に挿入してください。
   車両プラグは自動的にロックされ、充電プロセスが開始します。
   インジケーター・ライト**C**は高電圧バッテリーの充電状態を表示し、インジケーター・ライト**D**は車両プラグの接続状態を表示します。
   「車両充電ポートの充電および接続表示」(29ページ）を参照してください。

インフォメーション

- 車両をロックしたときに車両プラグが挿入されていた場合、車両プラグはロックされたままになります。
- イグニッションをOFFにして再度ONにした後、イグニッションがONの状態（イグニッション・ロック位置**1**）で充電プロセスを開始することが可能です。
- 充電プロセス中にイグニッション・キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**2**に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを外さなかった場合、充電プロセスは約20秒後に再開します。
- 充電タイマー機能が作動すると、充電タイマーが充電プロセスの開始をコントロールします。車両プラグを挿入してロックした後すぐに充電プロセスは開始されません。
  充電タイマー機能に関するインフォメーション：

▷ 「充電タイマー機能の作動/解除」（30ページ）を参照してください。

充電プロセスの終了および車両プラグの車両充電ポートからの取り外し

1. 車両キーのボタンを押してください。
   車両プラグのロックが解除されます。
   充電プロセスが開始していた場合、中断されます。
2. 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから取り外してください。約20秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。
3. 必要な場合は車両充電ケーブルを電気ソケットから切り離し、安全な場所に収納してください。
   ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)用取扱説明書（別冊）および車両充電ケーブル用取扱説明書を参照してください。
4. 充電ポートに異物などが入らないようにカバー **A**を取り付けてください。
5. 充電ポート・リッドを閉じてください。

インフォメーション

- 車両キーのボタンを使用して20秒以内に車両をロックした場合、または車両プラグのロックを解除中に車両をロックした場合、車両プラグは再度ロックされます。充電プロセスが再開します。
- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。

▷ 充電プロセスが終了してから、車両充電ケーブルを電気ソケットから外してください。

▷ 高電圧バッテリーの充電の安全に関する指示を読んでください。

インフォメーション

車両始動時、車両プラグが車両充電ポートに挿入されていると、（イグニッション・キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**2**に回した場合）、メッセージ「**ジュウデンプラグ トリハズシテ スタート**」がインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから取り外してください。
  充電プロセスが開始していた場合、中断されます。

▷ 車両充電ケーブルを安全な場所に収納し、エンジンを始動してください。

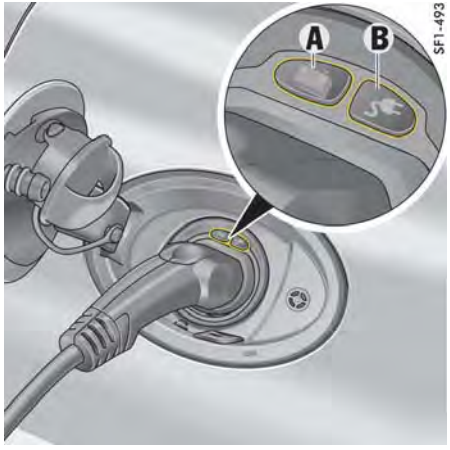
車両プラグの緊急操作（車両プラグのロックが解除できない）

車両プラグを車両キーで解除できない場合（車両キーの電池が消耗しているなど）、緊急操作を実施しなければなりません：

1. イグニッション・キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**2**に回してください。
   車両プラグが自動的に解除され、充電が約20秒間中断されます。
2. 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから取り外してください。
   約20秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

車両キーの電池交換に関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「車両キー（リモート・コントロール）用電池の交換」の章を参照してください。



A 高電圧バッテリー充電状態
B 車両プラグ接続状態

車両充電ポートの充電および接続表示

インジケーター・ライト**A**は高電圧バッテリーの充電状態を表示し、インジケーター・ライト**B**は車両プラグの接続状態を表示します。

A	B	意味
消灯	点滅	車両プラグが挿入されているが、ロックされていません。
消灯	常時点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。車両は電源に接続されていません。
消灯	常時点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスはまだ始まっていません。
点滅	常時点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。高電圧バッテリーは充電されています。
常時点灯	常時点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスは終了しています。
常時点灯	常時点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスは終了しています。車両は電源に接続されていません。
消灯	常時点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。
消灯	消灯	車両プラグが挿入されていません。 **または** 車両プラグが挿入されているときは、車両はアイドリング状態です。 現在の接続状態および充電状態を確認するには： ▷ 車両キーの🔓ボタンまたは🔒ボタンを押してください。

充電プロセスを開始できなかった場合は以下を確認してください：

- ▷ 車両プラグが正しく挿入されているか確認してください。
- ▷ 充電装置が準備状態であるか確認し、車両充電ケーブルのコントロール・ユニットの表示を点検してください。
  ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)用取扱説明書（別冊）および車両充電ケーブル用取扱説明書を参照してください。
- ▷ 必要であれば車両プラグを切り離した後に再び接続して充電プロセスを再開してください。

インフォメーション

車両充電ポートの車両プラグ接続状態がインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリア、およびポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊に表示されます。

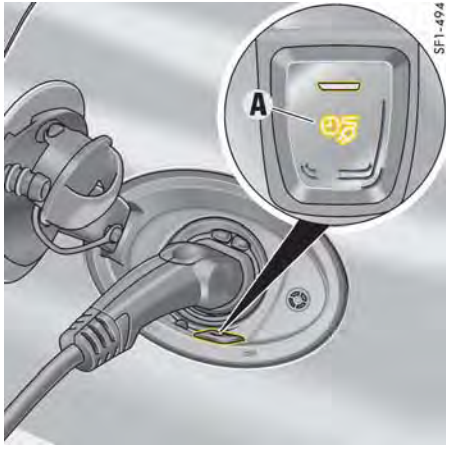
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：

- ▷ 「上部ステータス・エリアの表示を変更する」（19ページ）を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊に関するインフォメーション：

- ▷ 「ハイブリッド・エネルギー・フロー＊」（20ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。



充電タイマー機能の作動/解除

高電圧バッテリーの充電プロセスは充電タイマー機能により任意的に制御されます。

この機能が作動すると、プログラミングした時間までに十分な時間があり、車両プラグが挿入されている場合、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに完全に充電されます。充電タイマーは充電プロセスが開始された後制御します。この機能を停止すると、充電プロセスがすぐに始動します。

ボタン**A**を使用して充電タイマー機能を作動および停止するためには、車両のロックを解除する必要があります。

充電タイマー機能の作動

▷ インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで乗車タイマーをプログラミングしてください。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの乗車タイマーのプログラミングに関するインフォメーション：
「乗車タイマーのプログラミング」（16ページ）を参照してください。

▷ 車両プラグを差し込んでください。
車両プラグの車両充電ポートへの挿入に関するインフォメーション：
「車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する」（27ページ）を参照してください。
ボタン**A**のインジケーター・ライトが点灯します。
充電タイマーは充電プロセスが開始された後制御します。プログラミングした時間までに十分な時間がある場合は、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに充電されます。

インフォメーション

充電タイマー機能を作動したときにインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで乗車タイマーがプログラミングされていない場合は、**A**ボタンのインジケーター・ライトが3回点滅して、消灯します。

充電タイマー機能の停止

以下の前提条件を満たさなければなりません：
– 車両プラグが差し込まれている
– 充電タイマー機能が作動している

▷ 車両充電ポートの**A**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
高電圧バッテリーの充電プロセスがすぐに開始します。タイマー機能は解除されます。
高電圧バッテリーが完全に充電されるまでの残りの充電時間がマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに表示されます。

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：

▷ 「上部ステータス・エリアの表示を変更する」（19ページ）を参照してください。

充電時間に関するインフォメーション：

▷ 「充電時間」（31ページ）を参照してください。

インフォメーション

– 充電タイマー機能が停止している場合、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの「**クライメート**」機能を使用して車両のプレコンディショニングを選択することができません。
– ドア・ロックを解除した後、ドアまたはリヤ・リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的にロックされます。
充電タイマー機能の**A**ボタンも作動解除されます。
開閉操作とロックに関する更に詳しいインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「車外からの開閉操作とロック」の章を参照してください。

充電時間

ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)を使用した充電プロセスに必要な時間は、以下の要素により変動する場合があります：

- 使用した電気ソケット（家庭用電気ソケットまたは工業用電気ソケット）
- 国別の主要電圧および電流
- ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)のコントロール・ユニットおよび使用した車両充電ケーブルのコントロール・ユニットの電流設定
- 主要電圧の変動
- 車両周りの外気温度
- 高電圧バッテリーの温度
- 高電圧バッテリーの充電レベル
- 車内温度のプレコンディショニングの作動（乗車タイマーの「**クライメート**」機能またはインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの「**Maintain temp.**」機能を作動）
- 車両プラグの通電容量

放電したバッテリーの充電時間

接続	3.6 kWでの充電時間	7.2 kWでの充電時間
家庭用電気ソケット、日本	約10時間 (100 V、10 A)	約10時間 (100 V、10 A)
工業用電気ソケット、日本	約2.3時間 (200 V、16 A)	約1.4時間 (200 V、30 A)

⚠ 注意

ポルシェ・プラグインハイブリッド車両の充電には、専用のコンセントの設置が必要です。既存の工業用・家庭用コンセントは使用できません。詳細はポルシェ正規販売店へお問い合わせください。

インフォメーション

外気温度が極端に高い、または低い場合、充電時間が長くなる可能性があります。

公共充電

車両は、IEC 62196-2（またはSAE J1772）基準にしたがった充電ポート装備の、またIEC 61851-1（またはSAE J1772）基準にしたがった充電プロセスに対応した公共充電ステーションで充電可能です。

公共の充電ステーションがこれらの要件を満たしていない場合は、充電プロセスを開始できません。ご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお気軽にご相談ください。

公共の充電ステーションが充電ソケットのみを備えており、充電ケーブルを備えていない場合は、別途車両充電ケーブルが充電用に必要です(IEC 61851-1、モード3) ＊。

▷ 充電ステーションに備え付けの充電プロセスのための取扱説明書を参照するか、係員にお問い合わせください。
認証および作動に関する情報、および充電プロセスに関する情報は関連の充電ステーション係員から入手できます。

インフォメーション

公共の充電ステーションがこれらの要件を満たしていない場合は、乗車タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

乗車タイマーの解除に関するインフォメーション：

▷ 「乗車タイマーの作動/解除」(17ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様には、該当しない場合があります。

車両のお手入れ

この車両にはメンテナンス・コンピューターが装備されています。オイル交換など、間近に必要となるメンテナンスが、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

車両のお手入れに関する更に詳しいインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「車両のお手入れ」の章、特に警告と安全に関する指示をよく読んでください。

高電圧バッテリー

高電圧バッテリーは、ラゲッジ・コンパートメントのフロア下にあります。高電圧バッテリーのユーザーによるお手入れは必要ありません。

▷ 「安全に関する知識」（2ページ）を参照してください。

知識

液体が漏れ出すことにより高電圧バッテリーと車両エレクトリカル・システムが損傷する恐れがあります。

▷ ラゲッジ・コンパートメントには、大量の液体が入った容器を持ち込まないでください。

▷ ラゲッジ・コンパートメントの清掃に液体クリーナー等を使用しないでください。

お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフ・サイクル中にバッテリー容量が減少し、使用可能な最大電気量も減少します。

以下の対策により、ライフ・サイクル中に減少するバッテリー容量にプラスの効果を与えることができます：

▷ 充電タイマー機能による高電圧バッテリーの充電

▷ 長時間車両を駐車する場合は、放電した高電圧バッテリーを放置せず、電源に接続してください。

▷ 高電圧バッテリーを完全に充電しているときは、直射日光の下など、高温になる場所に車両を**駐車しない**でください。

エンジン・オイルの補充

オイル・レベル警告とオイル・レベル点検に関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「エンジン・オイル・レベルの点検」の章を参照してください。

Porsche recommends Mobil 1

適合オイル

車両	ポルシェ社認証オイル[1]	粘度等級[2]
Panamera S E-Hybrid	Porsche C30 **または** VW 504 00	SAE 0W-30[3] SAE 5W-30[3]

[1] 一般に、メーカーが推奨するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。
最新の承認オイルについてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

[2] SAE粘度等級

[3] すべての温度条件に対応

下記の点にご注意ください：

- ポルシェ社が認定したエンジン・オイルのみを使用してください。最適な状態で故障なく運転するための前提条件です。
- 定期的なオイル交換も車両整備の一部です。「整備手帳」の指示にしたがって定期的な点検整備、特に定期的なオイル交換を行うことが重要です。
- ポルシェ認定オイルは、互いに混ぜ合わせることができます。
- ポルシェ車のエンジンはオイル添加剤なしで作動するよう設計されています。
- エンジン・ルームには、この車両に適したオイルの情報を記したステッカーが貼り付けてあります。

詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告 エンジン・オイルの発火

こぼれたエンジン・オイルが高温のエンジン部品に触れると火災の原因になります。

▷ エンジン・オイル補充時には特にこぼさないように注意してください。

▷ エンジン・オイルの補充は、必ずエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

エンジン・オイル給油口

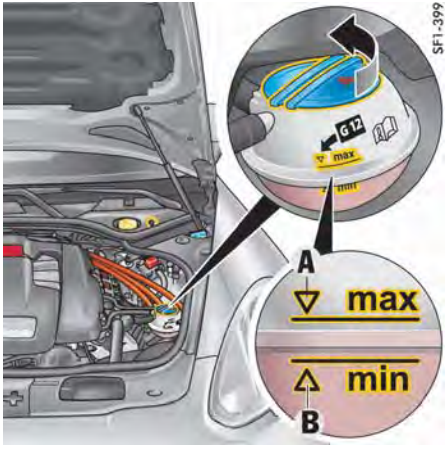
知識

エンジン・オイルがドライブ・ベルトに付着した場合、損傷する恐れがあります。

▷ 特にエンジン・オイル補充時には、こぼさないように注意してください。

▷ エンジン・オイルの補充は、必ずエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

1. オイル・フィラー・キャップを緩めて取り外してください。
2. マルチファンクション・ディスプレイのオイル・ゲージにしたがってオイルを補充してください。
3. オイル・フィラー・キャップを慎重に取り付けてください。



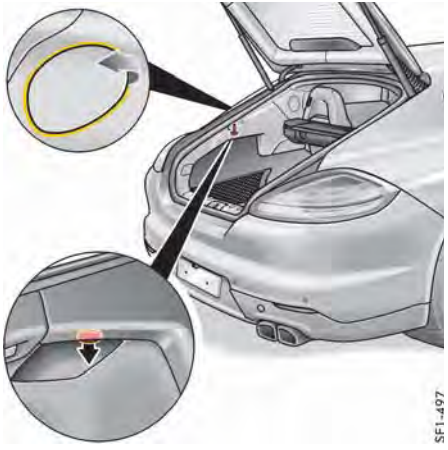
A 上限マーク
B 下限マーク

ハイブリッド・システム構成部品の冷却システム

内燃エンジンの高温冷却システムに加え、この車両にはハイブリッド・システムの構成部品、例えばパワー・エレクトロニクスを冷却するための第2の冷却システムが装備されています。この低温冷却システムのエキスパンション・タンクは、エンジン・ルーム内の車両の（前進方向に対して）左側にあります。

クーラント・レベルの点検と補充に関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「クーラント・レベルの点検と補充」の章を参照し、その記載手順にしたがって低温冷却システムの点検と補充を行ってください。



充電ポート・リッドの緊急ロック解除

電動ロック解除機構が故障したときは、充電ポート・リッドを次の手順で開くことができます：

1. リヤ・リッドを開いてください。
2. ラゲッジ・コンパートメント左側のトリム・パネルの裏側にある緊急ロック解除機構を**矢印の方向に**引いてください。
   充電ポート・リッドが開きます。
3. 充電ポート・リッドの緊急ロック解除機構を点検してください。
   ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専門装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

軽修理

これまで説明した技術的な違いの他にも、ハイブリッド車にはそれ以外の車両と異なる面が多数あります。

軽修理に関する更に詳しいインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「軽修理」の章、特に警告と安全に関する指示をよく読んでください。

ハイブリッド・システムの緊急遮断

ハイブリッド・システムを危険な高電圧から保護するため、次のような場合にはシステムが自動的にOFFになります：

– 事故でシートベルト・プリテンショナーまたはエアバッグが作動した場合
– ハイブリッド・システムにショートが検出された場合
– ハイブリッド・システムのプラグ接続のどれか1つが切り離された場合

ハイブリッド・システムの緊急遮断が作動すると、車両は始動できなくなります。

▷ ご自身では絶対にハイブリッド・システムを再起動しないでください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専門装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

事故後の迅速および安全な救助、または復旧のためにフロント・ドアの「e-hybrid」ロゴを取り外さないことを推奨します

応急処置セット＊および工具セット

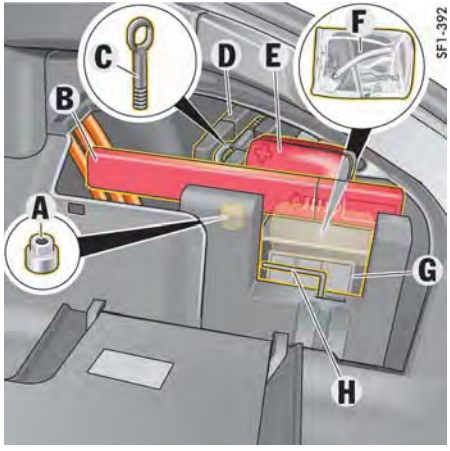
応急処置セットおよび工具セットは、ラゲッジ・コンパートメント右側のアクセス・カバー内に収納されています。

▷ アクセス・カバーのハンドル（**矢印**）を引いてください。
▷ 開いたアクセス・カバーはラゲッジ・コンパートメント・フロアに置いてください。

インフォメーション

▷ 応急処置セット＊から取り出した備品や古くなった備品は直ちに交換してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。



工具セットには次のものが同梱されています：

A 盗難防止ホイール・ボルト用ソケット・レンチ
B 停止表示板＊
C けん引フック
D 工具セット
E 応急処置セット＊
F タイヤ・シーラント
G コンプレッサー
H スライディング/チルティング・ルーフの緊急操作用六角レンチ

インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

ハイブリッド車もジャンパー・ケーブルにより他の車両の始動を行うことができ、自車の12Vバッテリーが消耗した場合には他の車両からジャンパー・ケーブルによる始動が行えます。

▷ 取扱説明書の「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」の章を参照してください。

ハイブリッド車のノイズ

内燃エンジンがOFFになると、エンジン作動時には聞こえないノイズが聞こえることがあります。これらのノイズに問題はなく、誤作動を示すものではありません。

▷ 疑わしい場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専門装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメントのバッテリー（12V）およびヒューズ/リレー・ボックス

警告 作業中の電気系統のショート

車両電気系統に対する作業が原因で、ショートが生じることがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

▷ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス(-)ケーブルの端子を外してください。

12Vバッテリーおよびヒューズ/リレー・ボックスは、ラゲッジ・コンパートメント左側のアクセス・カバー内にあります。

▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。

▷ リレーの点検および交換は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

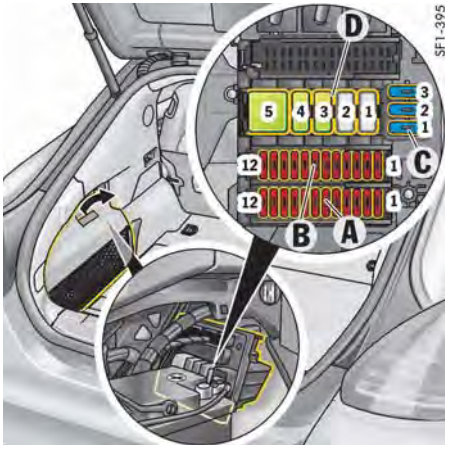
ヒューズの割り当ておよびヒューズの交換に関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「電気系統」の章を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

アクセス・カバーを開く

- ▷ アクセス・カバーのハンドル（**矢印**）を引いてください。
- ▷ 開いたアクセス・カバーはラゲッジ・コンパートメント・フロアに置いてください。



A - ヒューズ・キャリア
B - ヒューズ・キャリア
C - ヒューズ・キャリア、マキシ・ヒューズ
D - リレー・キャリア

インフォメーション

ヒューズが何度も切れる場合は、直ちに原因を解消する必要があります。

- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専門装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告と情報メッセージの概要

警告シンボル・マークが表示された場合は、本書と取扱説明書の該当する章を必ず読んでください。
すべての作動条件が満たされた場合にのみ警告メッセージが表示されます。

警告と情報メッセージの概要

赤色の警告 **システムの故障または警告**

▷ 直ちにポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。

黄色の警告 **作動の不具合、またはシステム故障を知らせる警告**

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。

白の警告 **インフォメーション/メッセージ**

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。またはお客様ご自身で対処してください。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告シンボル・マーク		意味/対処法
		ハイブリッドシステムコショウ テイシャスル	直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		コショウハイブリッドシステム ハンバイテンへ ウンテンカノウ	車両を充電しないでください。必要な場合は車両プラグを車両充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ジュウデンプラグ トリハズシテ スタート	車両プラグを充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
		オルタネーター コショウ テイシャスル	安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ステアリング アシストセイゲン ハンバイテンへ ウンテンカノウ	ステアリング操作に大きな力が必要になります。走行条件の変化に合わせて運転してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ステアリング アシストセイゲン ウンテンカノウ ソクドチュウイ	ステアリング操作に大きな力が必要になります。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告シンボル・マーク		意味/対処法
		キンキュウソウサ サイスタートゴニ ソウコウカノウ	燃料タンクが空になると、内燃エンジンを駆動力として利用できません。 車両を再始動（イグニッションOFF/ON）した後、バッテリーに充電された電気を使用して電動モーターのみで走行続行可能です。給油後、内燃エンジンが駆動力として再度利用可能になります。
		キンキュウソウサ シキュウキュウユ キョリチュウイ	燃料タンクが空になると、内燃エンジンを駆動力として利用できません。バッテリーに充電された電気を使用して電動モーターのみで走行続行可能です。給油後、内燃エンジンが駆動力として再度利用可能になります。

* この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専門装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

テクニカル・データ

エンジン・データ（メーカー発表値）

	内燃エンジン	モーター・ジェネレーター	コンビネーション（統合作動）
タイプ	V型6気筒スーパーチャージャー付きエンジン	同期式モーター・ジェネレーター	
シリンダー数	6		
総排気量	2,995 cm^3		
最高出力(80/1269/EEC)	245 kW (333 hp)	70 kW (95 hp)	306 kW (416 hp)
エンジン回転数	5,500～6,500 rpm	2,200～2,600 rpm	5,500 rpm
最大トルク(80/1269/EEC)	440 Nm	310 Nm	590 Nm
エンジン回転数	3,000～5,250 rpm	1,700 rpm以下	1,250～4,000 rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.8 ℓ/1,000 km		
エンジン許容最高回転数	6,500 rpm		

燃費、排出ガスおよび電力消費量（メーカー発表値）

Euro5および6に基づく測定法：このデータはNEDC(New European Driving Cycle)のEuro5および6 EU規格No.195/2013に基づく測定方法に則って標準仕様車で測定したものです。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のために利用できますが、詳細についてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
Euro4に基づく測定法：ECE-R.83およびECE-R.101の基準に則って測定したデータです。

燃料および電力消費量、排出ガス

	合計燃料消費量 (ℓ/100 km)	合計電力消費量 (Wh/km)	総CO_2 (g/km)
Panamera S E-Hybrid	3.1	162	71

動力性能（メーカー発表値）

DIN規格の空車重量で測定しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

	最高速度	最高速度（電動モーター走行）	0～100 km/h発進加速
Panamera S E-Hybrid	270 km/h	135 km/h	5.5秒

ホイール、タイヤ

- 指定のタイヤとホイールのサイズは広範囲のテストを元に認可されているものです。ポルシェ社が承認したタイヤを装着することにより、この車両に最適な走行性能が得られます。タイヤには積載容量係数（「105」など）と最大速度記号文字（「V」など）以上の性能のものを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：取扱説明書の「タイヤ、ホイール」の章を参照してください。
- [1]のマークが付いた以下のホイールはホイール・スペーサー＊と一緒には使用できません。
- スノー・チェーンのクリアランスは、[2]のタイヤとリムの組み合わせ（スペーサーなし）の場合のみ保証されます。スノー・チェーンはリヤ・ホイールのみに装着できます。スノー・チェーン装着時の最高速度については各国の法規にしたがってください。ポルシェ社の認可したファインリンク・クロスタイプ・チェーンまたはエッジ・チェーンのみをご使用ください。
- タイヤ、ホイール、スノー・チェーンに関する最新の認可情報については、ポルシェ正規販売店にお気軽にお問い合わせください。

	Panamera S E-Hybrid	
	フロント・アクスル	リヤ・アクスル
18インチ・ホイール	8J x 18、RO 59	9J x 18、RO 53
サマー・タイヤ	245/50 ZR 18 (100Y)	275/45 ZR 18 (103Y)
ウインター・タイヤ	245/50 R 18 100V	275/45 R 18 103V [2]
	245/50 R 18 104V	275/45 R 18 107V [2]
19インチ・ホイール	9J x 19、RO 60	10J x 19、RO 61
サマー・タイヤ	255/45 ZR 19 (100Y)	285/40 ZR 19 (103Y)
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ	255/45 R 19 100V	285/40 R 19 103V [2]
20インチ・ホイール	9.5J x 20、RO 65	10.5J x 20、RO 65
ウインター・タイヤ	255/40 R 20 101V XL	285/35 R 20 104V XL [2]
20インチ・ホイール	9.5J x 20、RO 65	11J x 20、RO 68
サマー・タイヤ	255/40 ZR 20 (101Y) XL	295/35 ZR20 (105Y) XL
オール・シーズン・タイヤ	255/40 R 20 101V XL	295/35 R 20 105V XL
20インチ・ホイール	9.5J x 20、RO 65	11.5J x 20、RO 63 [1]
サマー・タイヤ	255/40 ZR 20 (101Y) XL	295/35 ZR 20 (105Y) XL
オール・シーズン・タイヤ	255/40 R 20 101V XL	295/35 R 20 105V XL

＊ 日本仕様に設定はありません。

冷間時のタイヤ空気圧(20°C)

これらのタイヤ空気圧はポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

積載荷重

部分積載時 = 積載重量 < 260kg

全積載時 = 積載重量 > 260kg

サマー・タイヤの標準空気圧

▷ 車両の積載荷重はマルチファンクション・ディスプレイで設定してください。車両重量に応じてタイヤ空気圧を調整してください。取扱説明書の「TPMメニューの負荷を選択する」の章を参照してください。

		Panamera S E-Hybrid			
		部分積載時		全積載時	
		フロント・アクスル	リヤ・アクスル	フロント・アクスル	リヤ・アクスル
サマー・タイヤ	18インチ・ホイール	2.4 bar (34 psi)	2.4 bar (34 psi)	2.4 bar (34 psi)	2.7 bar (39 psi)
	19インチ・ホイール	2.4 bar (34 psi)	2.4 bar (34 psi)	2.4 bar (34 psi)	2.7 bar (39 psi)
	20インチ・ホイール	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.9 bar (42 psi)

240km/hの速度までに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤの標準タイヤ空気圧

▷ 車両の積載荷重はマルチファンクション・ディスプレイで設定してください。車両重量に応じてタイヤ空気圧を調整してください。取扱説明書の「TPMメニューの負荷を選択する」の章を参照してください。

		Panamera S E-Hybrid			
		部分積載時		全積載時	
		フロント・アクスル	リヤ・アクスル	フロント・アクスル	リヤ・アクスル
240km/hの速度までに適用するウインター・タイヤ	18インチ・ホイール	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.6 bar (37 psi)
	19インチ・ホイール	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.6 bar (37 psi)
	20インチ・ホイール	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)	2.5 bar (36 psi)	3.0 bar (43 psi)
240km/hの速度までに適用するオール・シーズン・タイヤ	19インチ・ホイール	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.6 bar (37 psi)
	20インチ・ホイール	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.9 bar (42 psi)

160km/hの速度までに適用するコンフォート・タイヤ空気圧（タイヤ空気圧モニタリング(TPM)装備車で「コンフォート」を選択している場合のみ）

コンフォート・タイヤ空気圧を使用するための条件

– タイヤ空気圧モニタリング(TPM)を装備している
– TPM の「**コンフォート**」メニューが利用可能である

手順

マルチファンクション・ディスプレイおよびタイヤ空気圧モニタリング(TPM)の操作に関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書の「マルチファンクション・ディスプレイの操作」の章を参照してください。
▷ 取扱説明書の「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」の章を参照してください。

1. マルチファンクション・ディスプレイでメイン・メニュー「**TPM**」を選択し、決定してください。
2. 「**コンフォート**」タイヤ空気圧タイプを選択し、決定してください。

マルチファンクション・ディスプレイで「**TPM**」メイン・メニュー**および**「**コンフォート**」メニューが使用可能な場合のみ、コンフォート・プレッシャーをタイヤに設定することができます。

コンフォート・プレッシャーをタイヤに設定するには：

3. マルチファンクション・ディスプレイでメイン・メニュー「**TPM**」を選択し、決定してください。
4. 「**クウキアツ**」を選択し、決定してください。
5. 補正すべきタイヤ空気圧をディスプレイから読み取り、タイヤに設定してください。

インフォメーション

タイヤ空気圧を補正するときは、「**クウキアツ**」ディスプレイに表示される空気圧の差のみを使用してください。

警告 タイヤ空気圧の不足

タイヤ空気圧モニタリング(TPM)は装備仕様によって、「**コンフォート**」メニューは国によって異なるため、すべての国別仕様で使用可能ではありません。
タイヤ空気圧が低い状態で高速走行をすると、タイヤが破損します。

▷ タイヤ空気圧モニタリング(TPM)**および**「**コンフォート**」メニューが装備されている車両のタイヤにのみコンフォート・プレッシャーを選択してください。

インフォメーション

コンフォート・タイヤ空気圧の許容制限速度は国別の型式標準によって異なり、選択することはできません。

160km/hの速度までに適用する冷間時(20°C)のコンフォート・タイヤ空気圧（タイヤ空気圧モニタリング(TPM)およびマルチファンクション・ディスプレイの「コンフォート」メニューが装備されている車両のみ）		Panamera S E-Hybrid			
		部分積載時		全積載時	
		フロント・アクスル	リヤ・アクスル	フロント・アクスル	リヤ・アクスル
サマー・タイヤ	18インチ・ホイール	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)
	19インチ・ホイール	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)
	20インチ・ホイール	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)
ウインター・タイヤ	18インチ・ホイール	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)
	19インチ・ホイール	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)
	20インチ・ホイール	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)
オール シーズン	19インチ・ホイール	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)
	20インチ・ホイール	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)

車両重量（メーカー発表値）

	Panamera S E-Hybrid
空車重量（装備により異なります）	
DIN 70020規格	2,095～2,250 kg
70/156/EEC規格 [1]	2,170～2,325 kg
最大軸荷重、フロント [2]	1,210 kg
最大軸荷重、リヤ [2]	1,420 kg
総重量 [2]	2,580 kg
ルーフ積載荷重	
最大ルーフ積載荷重 [3]	75 kg

[1] 空車重量には運転者1名+荷物分(75kg)の重量が含まれています。
[2] 最大総重量および最大軸荷重を超えないようにしてください。
知識：追加アクセサリーなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。
[3] Porsche Tequipment製品、またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。
ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。

充填容量

ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

	Panamera S E-Hybrid
エンジン・オイル交換（フィルターを含む）	約6.75リットル
燃料タンク	約80リットル (予備用の約11リットルを含む)
燃料オクタン価	この車両のエンジンは、**EN228にしたがってオクタン価が95RON/85MONの金属系添加剤を含まない無鉛プレミアム・ガソリン**を使用したときに最大の出力と燃費を引き出すように設計されています。 この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。 オクタン価が95RON/85MON未満の金属系添加剤を含まない無鉛ガソリンを使用した場合、エンジンのノック・コントロールが自動的に点火時期を調整します。 オクタン価が95RON/85MON未満の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用すると、エンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。 ▷ このような燃料を使用した場合はアクセル・ペダルを全開にしないでください。 ▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー・システム	約5.5リットル

車両寸法（メーカー発表値）

	Panamera S E-Hybrid
全長	5,015 mm
全幅（ドア・ミラーを含まず）	1,931 mm
全幅（ドア・ミラー含む）	2,114 mm
ノーマル・レベルの車高	1,418 mm
ホイールベース	2,920 mm
地上高（最大積載およびノーマル・レベル時）	143 mm
地上高（ロー・レベル時）	115 mm
最小回転直径	11.97 m

索引

E

Eチャージ・モード（走行中の充電）.....23
　作動/解除.....24
Eパワー・モード
　アクセル・ペダルの抵抗がある位置（調節補助）.....22
　作動/解除.....22
　電動モーター走行の前提条件.....23
Eパワー・モード（連続した電動モーター走行）
　前提条件.....22

あ

アクセル・ペダルの抵抗がある位置（Eパワー・モードの調節補助）.....22
安全に関する知識.....2
　警告ラベル.....2

い

一定速度の走行.....8
インストルメント・パネル
　READY表示.....11
　パワー・メーター.....11
　マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・アシスト.....15
　マルチファンクション・ディスプレイのエネルギー・フロー・インジケーター.....12
インストルメント・パネルのREADY表示.....11
インストルメント・パネルのパワー・メーター.....11
インストルメント・パネルの表示.....11
　パワー・メーター.....11
　マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・アシスト.....15
　マルチファンクション・ディスプレイのエネルギー・フロー・インジケーター.....12

う

ウォッシャー・フルード
　充填容量.....45
運転
　一定速度の走行.....8
　加速.....8
　制動/回生.....9
　惰性走行（駆動力なしの走行）.....8
　停車.....9
　発進.....8

え

エミッション値.....40
エンジン
　テクニカル・データ.....39
エンジン・オイル
　交換量.....45
　燃料消費量.....39
　補充.....32
エンジンの始動.....10

お

オイル
　エンジン・オイルの補充.....32
　交換量.....45
応急処置セット＊（収納位置）.....34

か

概要説明
　燃費効率の良い運転.....4
加速.....8

き

緊急操作
　車両プラグ.....28
　充電ポート・リッド.....34

く

クーラント
　補充.....33
空気圧
　タイヤ(bar/psi).....42

け

警告ラベル.....2
軽修理
　応急処置セット＊の収納位置.....34
　工具セットの収納位置.....34

こ

公共充電.....31
工具セット（収納位置）.....34
高電圧バッテリー.....32
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続状態.....29

し

始動
　車両の始動.....10
車両寸法（メーカー発表値）.....46
車両プラグ（緊急操作）.....28
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始.....27
ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動.....35
充電（高電圧バッテリー）
　安全に関する知識.....25
　公共充電.....31
　高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続表示.....29
　車両プラグの緊急操作.....28
　車両プラグの挿入および充電プロセスの開始.....27
　充電時間.....31
　充電装置の概要.....25
　充電タイマー機能の作動/解除.....30
　充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し.....28
充電時間.....31
充電装置（概要）.....25
充電タイマー機能
　作動および停止.....30
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し.....28
充電ポート・リッド、緊急ロック解除.....34
重量（メーカー発表値）、テクニカル・データ.....44

す

スポーツ・モード
　作動/停止.....24

せ

制動/回生.....9
性能、テクニカル・データ.....39

た

タイヤ空気圧
　空気圧(bar/psi).....42
　コンフォート・タイヤ空気圧(bar/psi).....43
　コンフォート・タイヤ空気圧データ(bar/psi).....43
　データ(bar/psi).....42
惰性走行（駆動力なしの走行）.....8

＊ 日本仕様に設定はありません。

て

停車 9
ディスプレイ
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のEトリップ・ディスプレイ＊ 21
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊ 20
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイ＊ 21
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ディスプレイ＊ ..19
テクニカル・データ
エンジン 39
車両重量（メーカー発表値） 44
タイヤ、ホイール 41
タイヤ空気圧(bar/psi) 42
電動モーターの電力消費量 40
動力性能（メーカー発表値） 40
燃料消費量 40
電動モーター
燃料消費量 40
電動モーター走行
一定速度の走行 8

と

動力性能、テクニカル・データ 40
トルク、テクニカル・データ 39

ね

燃費効率の良い運転 4
燃料
燃料消費量 40
燃料タンクの容量 45

は

排気量、テクニカル・データ 39
ハイブリッド・システム
インストルメント・パネルの表示 11
機能説明 2
緊急遮断（ハイブリッド・システム） 34
高電圧バッテリー 32
作動条件 7
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション 37
ハイブリッド・システムの緊急遮断 34
ハイブリッド・システムの作動条件 7
ハイブリッド・ディスプレイ
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊ 19
ハイブリッド車のノイズ 35
発進 8
バッテリー
12 Vバッテリーの取り付け位置 35
高電圧バッテリー、お手入れ 32
パラレル・プラグイン・ハイブリッド・ドライブ 2

ひ

ヒューズ、リレー・ボックス 35

ふ

フルードおよび燃料 45
ウォッシャー・フルード 45
エンジン・オイル 45
燃料 45
フロント・ウィンドウ・ウォッシャー・システム
充填容量 45

ほ

ホイール
概要 41
サイズ 41
リム・インセット 41
補充
エンジン・オイル 32
クーラント 33
ポルシェ・カー・コネクト＊ 10
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊
Eトリップ・ディスプレイ 21
ハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ 20
ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイ 21
ハイブリッド・ディスプレイ 19
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のEトリップ・ディスプレイ＊ 21
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊ 20
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイ＊ 21

ま

マルチファンクション・ディスプレイ
Eパワー・アシスト 15
エネルギー・フロー・インジケーター 12
乗車タイマーのプログラミング 16
上部ステータス・エリアの表示を変更する 19
設定 15
電動モーター走行のデータを表示する 15
パーキング・プレエアコンの作動/解除 18
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション 37
マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・アシスト 15
マルチファンクション・ディスプレイのエネルギー・フロー・インジケーター 12
マルチファンクション・ディスプレイの設定 15
乗車タイマーのプログラミング 16
上部ステータス・エリアの表示を変更する 19
電動モーター走行のデータを表示する 15
パーキング・プレエアコンの作動/解除 18

よ

容量
ウォッシャー・フルード 45
エンジン・オイル 45

る

ルーフ・トランスポート・システム
車両重量（メーカー発表値） 44
ルーフ積載荷重 44
ルーフ積載荷重 44

＊ 日本仕様に設定はありません。

知っておくと役立つ情報

ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイ＊は特に経済的な運転を行うために役立ちます。

ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイは、内燃エンジンがOFFになっていた時間を表示します。

▷ ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイに表示されるエンジンOFF時間が最大になるように運転してみましょう。

制動時の回生よりも惰性走行の方がエネルギー面では効果的です。

惰性走行中、車両の運動エネルギーは直接、車両を前進させるために利用されます。回生中は、運動エネルギーが一度電気エネルギーに変換され、高電圧バッテリーに充電されます。その後、充電されたエネルギーの一部をモーター・ジェネレーターが運動エネルギーに戻します。これら2回の変換プロセスによって、エネルギーの一部が熱の形で失われます。

▷ 十分な速度で走行しているときは、アクセル・ペダルから足を完全に放し、惰性走行させてください。

エネルギーを大量に必要とする機器の使用を控えると、燃費が向上し、電気走行できる距離が増加します。

ハイブリッド特有の走行モード、例えば電気走行時などでは、電気負荷は高電圧バッテリーからのエネルギーでまかなわれます。これにより、電動モーター走行の距離が短くなることがあります。

▷ エアコン、リヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーター、シートおよびステアリング・ホイール・ヒーターなどは適切に、かつ控えめに使用してください。

その他のさまざまな工夫も、燃費向上に役立ちます。

走行抵抗、ひいては燃費は、ルーフ・ラックを装着したときや車両に不要な荷物を積んでいるとき、タイヤ空気圧が低すぎるときなどに悪化します。

▷ 必要のないルーフ・トランスポート・システムや不要な荷物は降ろし、タイヤ空気圧も正しく調整してください。

急ブレーキはエネルギーを浪費します。

通常、制動の度にモーター・ジェネレーターがオルタネーターとして機能し、運動エネルギーの一部を電気エネルギーに変換して高電圧バッテリーの充電に使用します。この場合、モーター・ジェネレーターがブレーキとして働きます。急ブレーキ時には、従来のブレーキ・システムがあくまで追加的に作動します。このプロセスでは、貴重なエネルギーが熱に変換され、高電圧バッテリーの充電には使用できません。

▷ ブレーキはスムーズかつ穏やかにかけ、モーター・ジェネレーターのエネルギー回収能力をフル活用してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。